



ウェブライト  
イントラネット情報端末「WebLight」

KDT312SCADG

## ソフトウェアマニュアル

---

このたびは、イントラネット情報端末「WebLight」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、本装置の機能、取扱い方法などを十分ご理解の上、正しくご使用下さるようお願い致します。

また詳細につきましては、販売代理店または弊社営業部までご連絡ください。

---

### 【お願い】

本ソフトウェアマニュアルは、必要に応じていつでも読めるように大切に保管ください。

本書の内容および本装置の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社営業カスタマサポート窓口までご連絡ください。

本書の適用の結果生じた間接障害を含め、いかなる損害についても責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の内容の一部または全ての無断転載、無断複写は禁止されております。

本装置は外国為替および外国貿易管理法の規定および暗号技術に関する輸出規制により、日本国外に輸出する場合には日本国政府の許可が必要です。

### 【保証について】

本書の注意書きに基づく正常な使用状態のもとで、保証期間内に万一故障し弊社がそれを認めた場合、無償にて故障個所の修理または交換を致します。

本製品の故障またはその使用により誘発される二次的な災害については、弊社はその責任を負わないものとします。

---

## はじめに

本書は、「コマツ」イントラネット情報端末 WebLight のソフトウェアマニュアルです。本装置をご使用になる前には必ず本書に記載された正しい手順でお使い下さい。なお、本装置のハードウェアの詳細につきましては別冊のハードウェアマニュアルをご参照下さい。

### ● 表記記号について

本書では、本装置のソフトウェアを正しくご使用いただくために、以下のような表記記号を使用しています。



取り扱いを誤った場合に、本装置を含む物的損害の発生が想定される場合の注意事項です。



装置の使用上の詳しい説明や、具体的手順についての解説及び注意事項です。



知っておくと有益な情報についての解説及び注意事項です。

## 仕様（ソフトウェア）

項	目	仕 様
通信	L A N接続	T C P / I P
W e bブラウザ	通信プロトコル	H T T P 1 . 0 及び H T T P 1 . 1 の一部
	H T M L	H T M L 3 . 2 フレームサポート
	表示イメージ	G I F ( G I F 8 7 a , G I F 8 9 a ) J P E G ( 基本方式 ( ベースライン ) D C T 符号化 ) P N G
	対応漢字コード	J I S、S H I F T J I S、E U C
	JavaScript	1.1 相当 (一部未対応)
	メールプロトコル	S M T P、P O P 3
	仮名漢字変換	A S K 仮名漢字変換
	認証	ベーシック認証
	C o o k i e	対応 (但し電源断で消去する。)
画面印刷機能	プリンタ制御コード	E S C / P (但し K D T 3 1 2 S C A D G のみ対応)
入力機能	入力手段	アナログタッチパネル、バーコードリーダー、磁気カードリーダー、etc.
音声出力	内蔵スピーカ / 音声外部出力	対応音声フォーマット : W A V、A U、A I F F (但し、16ビットサンプルデータは8ビットサンプルデータに変換されて出力されます。)
プラグイン	Java™モジュール	JV-Lite®
暗号化通信	SSL	SSL(Secure Socket Layer) Ver.2 及び Ver. 3 秘密鍵暗号関数 RC4(40 bit 及び128 bit 鍵長)、DES(40 bit 及び56 bit 鍵長) 公開鍵暗号関数 RSA(512, 768, 1024 bit 鍵長)、

本装置内のソフトウェアの逆アセンブル、逆コンパイルなどのリバースエンジニアリング行為を禁止します。

本製品のインターネット機能は株式会社アクセスのNetFront®を搭載しています。

「JV-Lite®」は株式会社アクセスの登録商標です。

Copyright (C) 1996,1997 ACCESS CO.,LTD.

Java および Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

この製品の一部は Independent JPEG Group を使用して作成されています。

## 本マニュアルの手引き

本書は、WebLight のソフトウェアを正しくお使い頂くためのマニュアルです。ハードウェアに関しましては別冊のハードウェアマニュアルをご参照ください。

**必ず最初にお読みください。**

「はじめに」-----本書で使用されている表記記号等を記載しています。本装置使用前には必ずお読みください。

**ソフトウェアを使用する際に、必要に応じてお読み下さい。**

項目	内容
1．準備	電源の投入、起動について記載しています。
2．接続環境の設定	ネットワークに接続するための設定について記載しています。
3．本装置の設定	本装置のシステムの設定方法について記載しています。（パスワード・画面など）
4．ツールバー	ツールバーの表示設定方法に、及びその使用方法について記述しています。
5．お気に入り	インターネット上のお気に入りのページの登録方法を記述しています。
6．メール画面	メールの送受信方法について記載しています。
7．ソフトウェアキーボード	本装置付属のソフトウェアキーボードの使用方法について記述しています。
8．画面ハードコピー	本装置で表示している画面のハードコピーする方法について記述しています。
9．暗号化通信（SSL）	暗号化通信（SSL）についての説明を記述しています。
10．HTML ドキュメント作成資料	本装置で表示可能な HTML 文書を作成する為の資料を記述しています。
11．オプション機器（別売）のご案内	本装置を設置する為の各種オプション機器（別売）について記述しています。
12．よくある質問と回答	本装置使用时、困った時にご使用下さい。

# 目 次

お願い .....	1
保証について .....	1
はじめに .....	2
仕様（ソフトウェア） .....	3
本マニュアルの手引き .....	4
<b>1 . 準備 .....</b>	<b>7</b>
1 - 1 電源の投入 .....	7
<b>2 . 接続環境の設定 .....</b>	<b>8</b>
2 - 1 ネットワーク接続前の準備 .....	8
2 - 2 接続環境の設定 .....	8
2 - 2 - 1 DHCPサーバを使用する場合 .....	9
2 - 2 - 2 DHCPサーバを使用しない場合 .....	9
2 - 3 ブラウザ環境の設定 .....	10
2 - 4 設定の完了 .....	12
2 - 5 画面表示後の操作 .....	12
<b>3 . 本装置の設定 .....</b>	<b>13</b>
3 - 1 管理者設定 .....	13
3 - 1 - 1 接続環境設定 .....	15
3 - 1 - 2 ブラウザ環境設定 .....	16
3 - 1 - 3 メール環境設定 .....	17
3 - 1 - 4 システム環境設定 .....	19
3 - 1 - 5 表示環境設定 .....	21
3 - 1 - 6 シリアル通信環境設定 .....	22
3 - 1 - 7 管理者設定の終了 .....	24
3 - 2 ユーザ設定 .....	24
3 - 2 - 1 ユーザ環境設定 .....	25
3 - 2 - 2 メール環境設定 .....	25
3 - 3 タッチパネルキャリブレーション .....	26
3 - 4 運転の前に .....	26
<b>4 . ツールバー .....</b>	<b>27</b>
4 - 1 ブラウザ画面 .....	27
4 - 2 ツールバーの表示 .....	27
<b>5 . お気に入り .....</b>	<b>29</b>
5 - 1 お気に入り機能 .....	29
5 - 2 お気に入り機能の操作 .....	29
5 - 2 - 1 お気に入りの起動 .....	29
5 - 2 - 2 お気に入りページの登録 .....	29
5 - 2 - 3 登録ページの表示 .....	31
5 - 2 - 4 タイトル変更 .....	31
5 - 2 - 5 整理 .....	31
5 - 2 - 6 削除 .....	32
5 - 2 - 7 終了 .....	32
<b>6 . メール画面 .....</b>	<b>33</b>

6 - 1 メールメニュー画面の呼び出し.....	33
6 - 2 メール作成 .....	34
6 - 3 送信簿.....	36
6 - 4 新着メール .....	37
6 - 5 受信簿.....	38
6 - 5 - 1 受信メール.....	40
6 - 6 アドレス帳 .....	41
6 - 6 - 1 アドレス登録 .....	43
6 - 6 - 2 アドレス一括登録.....	45
6 - 6 - 3 アドレス帳のソート .....	46
6 - 7 終了 .....	47
<b>7 . ソフトウェアキーボード.....</b>	<b>48</b>
7 - 1 ソフトウェアキーボードの概要.....	48
7 - 2 文字選択キー群 .....	49
7 - 3 文字入力キー群 .....	50
7 - 4 機能キー群 .....	50
7 - 5 テンキー群 .....	51
<b>8 . 画面ハードコピー.....</b>	<b>52</b>
8 - 1 画面ハードコピーの概要.....	52
8 - 2 パラレルタイプ ( K D T 3 1 2 S C A D G ) とプリンタの接続 .....	52
8 - 3 本装置の設定.....	52
8 - 4 プリンタの設定 .....	52
8 - 5 画面ハードコピー機能の使用方法.....	53
8 - 6 画面ハードコピー制限事項.....	53
<b>9 . 暗号化通信 ( SSL ) .....</b>	<b>54</b>
9 - 1 機能仕様 .....	54
9 - 1 - 1 SSL ( Ver. 2, Ver. 3 ) 対応プロトコル.....	54
9 - 1 - 2 ルート証明書 .....	54
<b>10 . HTML ドキュメント作成資料.....</b>	<b>55</b>
10 - 1 対応画像データ形式 .....	55
10 - 2 対応サウンドデータ形式.....	55
10 - 3 表示フォントについて.....	56
10 - 4 メールメニュー画面への移行.....	56
10 - 5 画面ハードコピー機能の使用.....	56
10 - 5 - 1 HTML 文書中の画像表示の完了後に画面ハードコピーを行う方法 .....	57
10 - 6 ユーザインターフェイスの作成.....	58
10 - 6 - 1 ツールバーの機能を HTML 文書に埋め込む.....	58
10 - 6 - 2 フレームの拡張機能.....	58
10 - 7 コンテンツの有効表示範囲 .....	58
10 - 8 ソフトウェアキーボードの指定.....	59
10 - 9 HTML タグ一覧 .....	60
10 - 10 JAVASCRIPT.....	62
10 - 10 - 1 JavaScript 対応表.....	62
10 - 10 - 2 JavaScript 制限事項.....	71
<b>11 . オプション機器 ( 別売 ) のご案内.....</b>	<b>72</b>
<b>12 . よくある質問と回答 .....</b>	<b>73</b>

## 1 . 準備

初めて本装置を使用する場合の設定方法を説明します。設定を実行する前に以下の項目について確認をしてください。

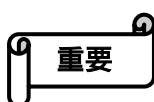
### 1 - 1 電源の投入

1. 本装置には専用の AC アダプタと電源ケーブルが付属しております。AC アダプタの出力コネクタを本装置の下側面の AC アダプタ入力に接続してください。（下図 参照）



（本体背面左下）

2. 上図 の部分が電源スイッチです。これを上にする事で本装置の電源がONになります。LEDランプ点灯後、「SYSTEM INITIALIZING NOW...」と表示された後、初期画面がディスプレイに表示されます。



電源を ON にしてから初期画面が表示されるまでには、およそ 12 秒かかります。初期画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

## 2 . 接続環境の設定

### 2 - 1 ネットワーク接続前の準備

本装置をネットワークに接続するためにいくつかの設定を行います。実際に設定する前に以下の項目を決めておく必要があります。

項目	必須項目	例
本装置の IP アドレス		10.0.0.1
本装置のサブネットマスク		255.255.255.0
本装置のデフォルトゲートウェイ		10.0.0.254
ネームサーバの IP アドレス	×	10.0.1.10
プロクシーホスト名、または、IP アドレス	×	host01
ホームページの URL、または、IP アドレス	×	10.0.0.10

：必ず設定しなければならない項目。

：D H C Pサーバを使用する場合、設定する必要はない。

×：必ずしも設定する必要はない。

初めて電源を入れると初期設定画面が表示されます。ここでは、初期設定の方法を説明します。次の設定手順にしたがって本装置を設定してください。ここではD H C Pサーバを使用する場合、使用しない場合それぞれについて最低限の設定を説明します。詳細な設定は**3 .本装置の設定**を参照してください。

### 2 - 2 接続環境の設定

接続環境設定の画面が表示されます。ここでは、通信に必要な設定を行います。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
----------------------	------------------------	-----------------------	------------------------	----------------------	--------------------------	--------------------

＜接続環境設定＞

---

DHCP機能: ☐使用する ☒使用しない

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

第1ネームサーバー:

第2ネームサーバー:

MACアドレス: XXXXXXXXXXXX



## 2 - 2 - 1 DHCPサーバを使用する場合

DHCPサーバを使用する場合は、以下のように設定します。

### DHCP機能の設定

DHCP機能を「使用する」に設定してください。

## 2 - 2 - 2 DHCPサーバを使用しない場合

DHCPサーバを使用しない場合は、以下のようにネットワークのアドレスを設定します。



- DHCP機能を「使用する」から「使用しない」に変更した場合、「実行ボタン」を押さないとIPアドレス等の変更ができません（IPアドレス等を入力するためのソフトウェアキーボードが表示されません）。DHCP機能の設定を「使用する」から「使用しない」に変更した場合は、IPアドレス等の変更を行う前に必ず「実行ボタン」を押してください。

### DHCP機能の設定

DHCP機能を「使用しない」に設定してください。

### IPアドレスの設定

IPアドレスの入力フィールドをタッチしてください。ソフトウェアキーボードがあらわれます。これを使用してIPアドレスを入力してください。アドレスはピリオドで区切った10進の数値を入力します。

例: 10.0.0.1

**\*ソフトウェアキーボードの使用方法は、7．ソフトウェアキーボードを参照してください。**

### サブネットマスクの設定

サブネットマスクの入力フィールドをタッチしてください。ソフトウェアキーボードがあらわれます。これを使用してサブネットマスクの値を入力してください。アドレスはピリオドで区切った10進の数値を入力します。

例: 255.255.255.0

### デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイの入力フィールドをタッチしてください。ソフトウェアキーボードがあらわれます。これを使用してデフォルトゲートウェイのIPアドレスの値を入力してください。

アドレスはピリオドで区切った10進の数値を入力します。デフォルトのゲートウェイを使用しない場合は、0.0.0.0を入力してください。

例: 10.0.0.254

### 第1ネームサーバ、第2ネームサーバ

ネームサーバの入力フィールドをタッチしてください。ソフトウェアキーボードがあらわれます。使用するネームサーバのIPアドレスを指定します。

ネームサーバを使用しない場合は設定を行う必要はありません。ネームサーバは2つまで設定することが可能です。1つだけ設定してもかまいません。

例: 10.0.1.10

以上の設定が終了したら、実行ボタンをタッチしてください。設定値を保存します。中止ボタンをタッチすると設定値は保存されません。

## 2 - 3 ブラウザ環境の設定

ここではプロクシー、ホームページ等の設定を行います。

### プロクシーホストの設定

プロクシーホストを使用する場合に設定します。使用しない場合は設定を行わないでください。設定する場合は入力フィールドをタッチしてください。ソフトウェアキーボードがあらわれます。これを利用して入力してください。

ネームサーバを使用する場合のプロクシーの設定は、ホスト名を入力してください。(ホスト名の最後に『/』は付けしないでください。)

ネームサーバを使用しない場合は、プロクシーホストの IP アドレスを入力してください。アドレスはピリオドで区切った 10 進の数値を入力します。

例: host01                      ホスト名で設定する場合  
     10.0.2.10                IP アドレスで設定する場合

### プロクシーポート

プロクシーホストと接続する際のポート番号を指定します。入力フィールドをタッチするとソフトウェアキーボードがあらわれます。ポート番号を 10 進で入力してください。

### ホームページ

電源 ON 時または、「ブラウザ画面のホームアイコンをタッチしたときに表示するホームページの URL を設定します。入力フィールドをタッチしてソフトウェアキーボードを表示させ URL を入力してください。

例: http://www.aaa.co.jp      ネームサーバ、または、プロクシーを設定している場合は URL 指定で可能。  
     http://10.0.0.10          IP で Web サーバを指定する場合。

### **画像データ読み**

画像データの読み込みの有無を設定してください。

## 最大同時接続数

サーバに同時に接続するソケットの最大数を 1~4 で設定してください。（デフォルトは 4 です。）

## メモリキャッシュ

メモリキャッシュ容量の大きさを 0~1024 (Kbyte 単位) で設定してください。0 に設置するとキャッシュ動作を行いません。（デフォルトは 1024 です）

以上の設定が終了したら、実行ボタンをタッチしてください。設定値を保存します。中止ボタンをタッチすると設定値は保存されません。

## 2 - 4 設定の完了

接続環境、ブラウザ環境の設定が完了したならば、LAN ケーブルを本装置に接続し、画面上部の『終了』ボタンをタッチします。正常に動作していれば、ホームページで設定した URL の画面が表示されます。

## 2 - 5 画面表示後の操作

画面表示が完了したあとの本装置の操作方法を説明します。

- 画面上にリンク先がある場合はアンダーラインで表示されます。その部分をタッチすることで画面遷移を行います。
- 「表示環境設定 スクロールバーの表示」で「常に表示」に設定している場合、または「表示環境設定 スクロールバーの表示」で「自動」に設定し画面に入りきらない画面を表示すると、右横、下にスクロールバーが表示されます。スクロールバーを移動させることで画面をスクロールすることが可能です。
- 「システム環境設定 ツールバーの表示形式」で「URL表示」を選択している場合、画面最下行に表示されているツールバーを「システム環境設定 メニューポップアップ条件」で設定した方法でタッチすることでメニューを表示することができます。この場合、メニューをクローズするには、ツールバー以外の部分をタッチしてください。

戻る	前に表示した画面に戻る。
進む	「戻る」で戻ったときに戻る前の画面を表示します。
再読込	現在表示中の画面を再読み込みします。
ホーム	ホームページで設定した画面を表示します。
中止	画面の読み込みを中止します。
ジャンプ	URL を指定して任意の画面を表示します。
設定	管理者設定画面またはユーザ設定画面を表示します。

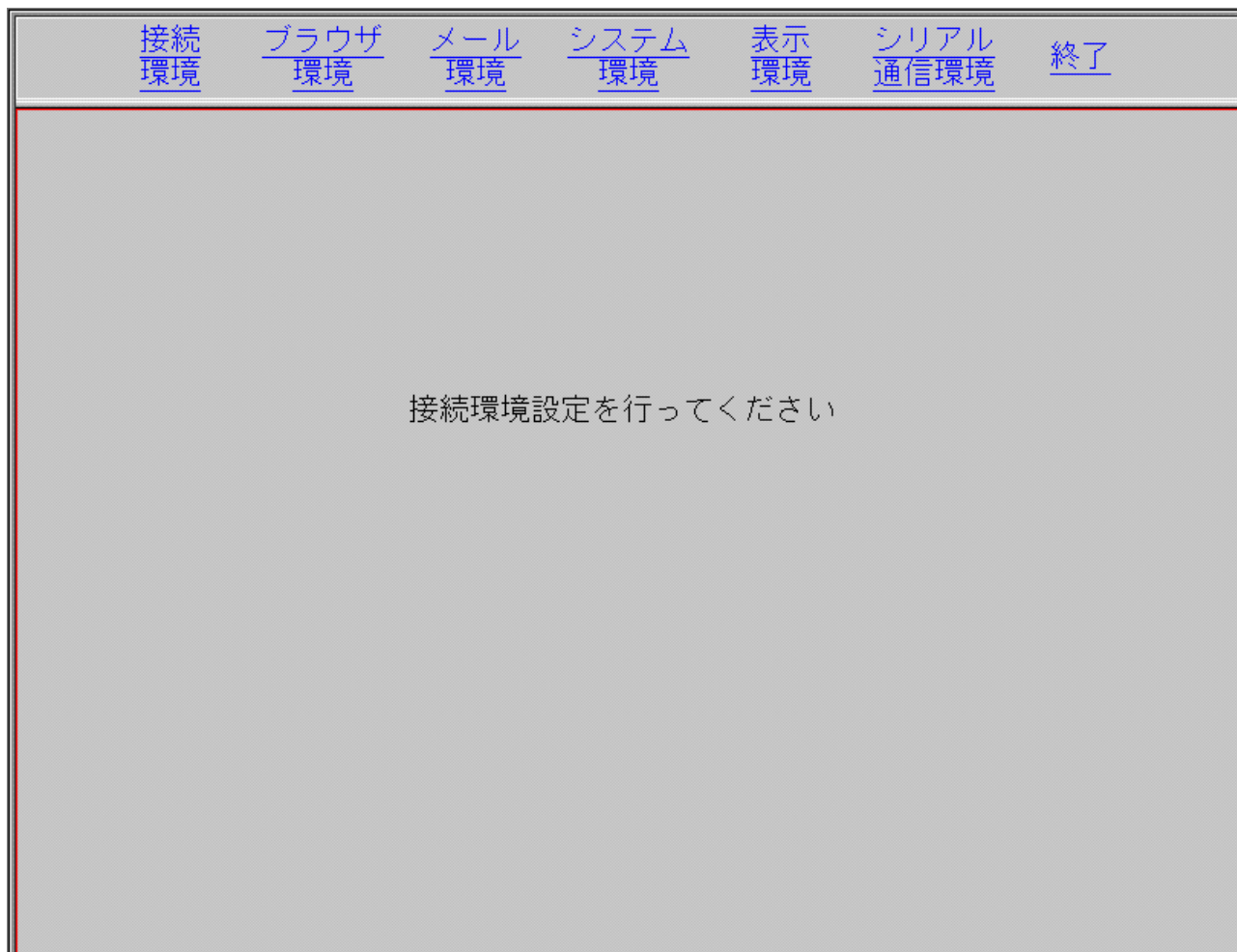
詳細は 4 - 2 ツールバーの表示を参照してください。

## 3 . 本装置の設定

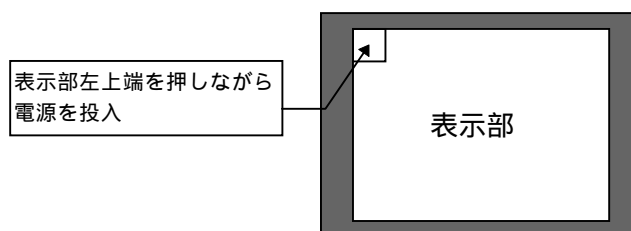
### 3 - 1 管理者設定

管理者設定画面では、本装置のすべての環境設定をおこなうことができます。

「接続環境設定 DHCP 機能」を「使用しない」に設定している場合に接続環境の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが未設定の場合は、電源を投入すると以下の画面が表示されます。画面上部のフレームの接続環境スイッチをタッチすると管理者設定の接続環境画面が表示されます。



また、表示部の左上端をタッチしたまま電源を投入すると、管理者設定の画面を表示するためのパスワード画面が表示されます。



このとき、以下の画面が表示されますので、下記のパスワードを入力してください。管理者設定画面が表示されます。

パスワード：t7391 \*パスワードの変更はできません。



各設定画面の設定値は、入力フィールドまたは選択ボタンで設定することができ、現在の設定値が表示されています。

入力フィールドをタッチすると、画面上にソフトウェアキーボードが表示されますので、これを利用して設定値を入力してください。入力後、キーボードの終了ボタンをタッチするとキーボードが閉じて設定値が入力フィールドに表示されます。

選択の場合は設定値の選択ボタンをタッチして選択してください。

設定終了後は、実行ボタンをタッチしてください。設定値が保存されます。中止ボタンをタッチすると設定値の変更を中止し、現在の設定値を再表示します。

### 3 - 1 - 1 接続環境設定

本装置をネットワークに接続するための環境を設定します。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
＜接続環境設定＞						
DHCP機能: <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない						
I P アドレス: <input type="text"/>						
サブネットマスク: <input type="text"/>						
デフォルトゲートウェイ: <input type="text"/>						
第1ネームサーバー: <input type="text"/>						
第2ネームサーバー: <input type="text"/>						
MACアドレス: XXXXXXXXXXXX						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

D H C P 機能	本装置の D H C P 機能の使用 / 未使用を設定します。
I P アドレス	本装置の I P アドレスをddd.ddd.ddd.dddの形式で記述します。 (dは10進数) D H C P 機能を使用する場合は設定不用です。
サブネットマスク	サブネットマスクをddd.ddd.ddd.dddの形式で記述します。 D H C P 機能を使用する場合は設定不用です。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの I P アドレスをddd.ddd.ddd.dddの形式で記述します。 D H C P 機能を使用する場合は設定不用です。
第 1 ネームサーバー	第 1 ネームサーバーの I P アドレスをddd.ddd.ddd.dddの形式で記述します。 D H C P 機能を使用する場合は設定不用です。

## 第2 ネームサーバー

第2 ネームサーバーのIPアドレスをddd.ddd.ddd.dddの形式で記述します。  
DHCP機能を使用する場合は設定不用です。

## MACアドレス

本装置のMACアドレスを表示します。

### 重要

- ネームサーバを指定していて、ネットワークのケーブルがはずれていたり、ネームサーバのアドレスが正しくない場合には、ブラウザ画面の最下位行または最上位行のツールバーが表示されるまでに数分かかります。  
このような場合にはネットワークのケーブルを正しく接続するか、ネームサーバのアドレスを正しいものに設定するかネームサーバが正しく動作しているかどうか確認してください。
- DHCP機能を「使用する」から「使用しない」に変更した場合、「実行ボタン」を押さないとIPアドレス等の変更ができません（IPアドレス等を入力するためのソフトウェアキーボードが表示されません）。DHCP機能の設定を「使用する」から「使用しない」に変更した場合は、IPアドレス等の変更を行う前に必ず「実行ボタン」を押してください。

### 3 - 1 - 2 ブラウザ環境設定

ブラウザがデータを取得するための環境を設定します。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
＜ブラウザ環境設定＞						
プロクシーホスト: <input type="text"/>						
プロクシーポート: <input type="text" value="8080"/>						
プロクシー未使用ドメイン: <input type="text"/>						
ホームページ: <input type="text"/>						
画像データ読み込み: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無						
最大同時接続数(1~4): <input type="text" value="4"/>						
メモリキャッシュ(0~1024): <input type="text" value="1024"/> KBytes						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

## プロクシーホスト

外部のネットワークにアクセスする代理サーバのホスト名を記述します。



プロクシーポート	外部へアクセスするポート番号を指定します。 (デフォルトは8080です)
プロクシー未使用ドメイン	プロクシーを使用しないドメインを記述します。“,”で区切ることで複数ドメインを指定できます。
ホームページ	起動時及びツールバーの「ホーム」を選択したときに読み込むURLを指定します。  *URL指定の際には、必ずhttp://を含めてください。
画像データ読み込み	GIF, JPEG等の画像データを表示するかしないかを指定します。
最大同時接続数	サーバに同時に接続するソケットの最大数を1~4で設定します。 (デフォルトは4です)
メモリキャッシュ	メモリキャッシュ容量の大きさを0~1024で設定します。0に設定するとキャッシュ動作を行いません。(デフォルトは1024です)

### 3 - 1 - 3 メール環境設定

メールの動作環境を設定します。

[接続環境](#)
[ブラウザ環境](#)
[メール環境](#)
[システム環境](#)
[表示環境](#)
[シリアル通信環境](#)
[終了](#)

<メール環境設定>

メール機能: ☒使用する ☐使用しない

タイトル表示: ☒Mail Information ☐メール案内所

アドレス帳のソート: ☐行う ☒行わない

SMTPサーバ名:

POPサーバ名:

メールアカウント:

メールパスワード:

メールアドレス:

ドメイン名:

発信者名:

署名:

受信メール自動削除: ☐無 ☒有

新着メール確認間隔時間: 分

メール機能	本装置のメール機能の使用 / 未使用を設定します。
タイトル表示	メール画面のタイトルを選択することができます。詳しくは、「6 - 1 メールメニュー画面の呼び出し」を参照してください。

アドレス帳のソート	アドレス帳に登録した名前をS-JIS昇順に並べ替えます。
SMTPサーバ名	メールサーバ（SMTP）のサーバ名を設定します。
POPサーバ名	メールサーバ（POP）のサーバ名を設定します。
メールアカウント	メールサーバに登録したログイン名を設定します。
メールパスワード	メールサーバに登録したパスワードを設定します。
メールアドレス	本装置で使用するメールアドレスを設定します。
ドメイン名	上記のメールアドレスのドメイン名部分（@の右側部分全部）を設定します。
発信者名	メールの発信者の名前を設定します。
署名	メールを作成するときに本文の末尾に引用される署名を設定します。
受信メール自動削除	受信したメールをサーバーから削除するかどうかを設定します。
着信メール確認時間	メールサーバーに着信した新着メールを本装置がチェックする時間間隔を設定します。99分まで1分単位で設定可能です。着信メールのチェックを行わない場合は0分に設定してください。

#### 重要

アドレス帳のソートは、メール環境設定で「アドレス帳のソート」を「行う」にチェックをいれた後、アドレス帳に新たなアドレスを登録した時点で名前をS - J I S 昇順でソートします。メール環境設定の「アドレス帳のソート」を「行う」にただけでは、ソートは実行されません。

### 3 - 1 - 4 システム環境設定

システムの動作環境を設定します。

接続 環境	ブラウザ 環境	メール 環境	システム 環境	表示 環境	シリアル 通信環境	終了
＜システム環境設定＞						
キーボードタイプ: <input checked="" type="radio"/> ソフト <input type="radio"/> ハード(直接入力) <input type="radio"/> ハード(間接入力) コントロールのフォーカス色: <input checked="" type="radio"/> 黒 <input type="radio"/> 赤 スイッチクリック音: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ツールバーの表示形式: <input checked="" type="radio"/> URL表示 <input type="radio"/> メニュー表示(下) <input type="radio"/> メニュー表示(上) <input type="radio"/> 表示しない 動作中の設定移行: <input checked="" type="radio"/> 管理者設定 <input type="radio"/> ユーザ設定 <input type="radio"/> 移行しない メニューポップアップ条件: <input checked="" type="radio"/> 最下行 <input type="radio"/> 最下行左端 <input type="radio"/> 最下行左端→右端→中央 <input type="radio"/> 開かない JavaScript機能: <input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない お気に入り機能: <input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない スピーカ音量: <input type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 7 System Version: Vx.XX System Sum: XXXX						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

#### キーボードタイプ

ソフト

: 画面上に表示されるキーボードを使用する場合に指定します。

ハード(直接入力): バーコードリーダや磁気カードリーダ等を使用する場合に指定します。  
入力フィールドに直接データを入力します。

ハード(間接入力): バーコードリーダや磁気カードリーダ等を使用する場合に指定します。  
データ入力時に入力ウィンドウが表示されます。

外付けの入力装置を接続しない場合はソフトにしてください。

#### コントロールのフォーカス色

入力フィールドやフレームをタッチしたときに、入力対象であることを示す枠の色を指定します。

#### スイッチクリック音

入力フィールドやリンク等をタッチしたときのブザー音の有無を指定します。

ツールバーの表示	<p>URL表示 : 画面下部にURL形式で表示します。</p> <p>メニュー表示(下) : 画面下部にメニュー形式で表示します。</p> <p>メニュー表示(上) : 画面上部にメニュー形式で表示します。</p> <p>表示しない : ツールバーを表示しません。</p> <p>(全画面表示になります。)</p>
動作中の設定移行	<p>本装置の動作中にツールバーの設定アイコンがタッチされたときに表示される設定画面の種類を選択します。</p> <p>管理者設定 : 管理者が設定する項目の設定画面を表示します。</p> <p>ユーザ設定 : ユーザが設定する項目の設定画面を表示します。</p> <p>移行しない : 設定アイコンを表示しません。</p>
メニューポップアップ条件	<p>ツールバーの表示でURL形式に設定しているときに、ツールバーを表示させる条件を指定します。</p> <p>最下行 : URL形式表示のどの部分をタッチしてもツールバーが表示されます。</p> <p>最下行左端 : URL形式表示の左端をタッチしたときのみツールバーが表示されます。</p> <p>最下行左端 右端 中央 : URL形式表示の左端、右端、中央の順番にタッチしたときのみツールバーが表示されます。</p> <p>開かない : ツールバーは表示されません。</p> <p><b>* 本設定は「ツールバーの表示形式」で「URL表示」を設定した場合のみ有効です。「ツールバーの表示形式」で「メニュー表示(下)」または「メニュー表示(上)」を設定した場合ツールバーは、常に画面最下行または最上行に表示されます。</b></p>
JavaScript機能	<p>本装置のJavaScript機能の使用 / 未使用を設定します。</p> <p><b>* JavaScript機能の設定を“使用しない”に設定し、JavaScriptを使用しているコンテンツを表示した場合、本装置の動作は保証されません。JavaScriptを使用しているコンテンツを表示する場合は必ず、JavaScript機能の設定を“使用する”に設定してください。</b></p>
お気に入り機能	<p>本装置のお気に入り機能の使用 / 未使用を設定します。</p>
スピーカ音量	<p>スピーカの音量を設定します。</p> <p>0 : スピーカをオフにします。(音はでません。)</p> <p>1~7 : スピーカの音量を設定します。数値の大きい方が大きな音量となります。</p>
System Version	<p>システムプログラムのバージョン名を表示します。</p>
System Sum	<p>システムプログラムのサム値を表示します。</p>

#### 重要

- JavaScript 機能の設定は本装置で表示するすべてのコンテンツに適用されます。コンテンツ毎にJavaScript 機能の使用 / 未使用を設定することはできません。
- JavaScript 機能の設定を“使用しない”に設定し、JavaScript を使用しているコンテンツを表示した場合、本装置の動作は保証されません。JavaScript を使用しているコンテンツを表示する場合は必ず、JavaScript 機能の設定を“使用する”に設定してください。
- JavaScript を使用していないコンテンツを表示する場合、JavaScript 機能の設定を“使用しない”

に設定することによりコンテンツの表示が速くなる場合があります。

### 3 - 1 - 5 表示環境設定

システムの表示環境を設定します。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
＜表示環境設定＞						
スクロールバーの表示: <input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 常に非表示 <input type="radio"/> 常に表示						
スクロールバーの幅: <input type="text" value="30"/> pixel						
スクロールノブ自動消去: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無						
スクロールボタン: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無						
フレーム枠の表示: <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無						
リンクイメージのボーダ幅: <input type="text" value="4"/> pixel						
行間: <input type="text" value="0"/> pixel						
バックライトの明るさ: <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 7 <input checked="" type="radio"/> 8						
バックライト消灯時間: <input type="text" value="0"/> 分						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

#### スクロールバーの表示

スクロールバーの表示方法を設定します。

自動 : 表示する画面に応じてスクロールバーの表示 / 非表示が行われます。

常に非表示 : 常にスクロールバーは表示されません。

常に表示 : 常にスクロールバーが表示されます。

#### スクロールバーの幅

スクロールバーの幅を設定します。1 から 30 の値で設定が可能ですが、10 以下に設定すると操作に支障が発生するのでお勧めできません。

#### スクロールノブ自動消去

リストボックス、テキストボックスのスクロールボックスでエレベータを表示するか、しないかを選択します。

#### スクロールボタン

スクロールバーの上下（左右）にある矢印形状のボタンの表示をするかしないかを選択します。

#### フレーム枠の表示

選択されているフレームの外枠にコントロールのフォーカス色で設定した色で枠を表示するかしないかを設定します。

#### リンクイメージのボーダ幅

リンクイメージのボーダ幅を指定します。

行間  
バックライトの明るさ

本文の行間を指定します。  
バックライトの明るさを8段階で調整します。  
8が最も明るく、1が最も暗くなります。

バックライト消灯時間

指定した時間の間タッチパネルをタッチしない場合に表示をOFFにします。99分まで1分単位で設定可能です。表示を常にONにするには、0分と指定してください。

### 3 - 1 - 6 シリアル通信環境設定

外部接続機器とのシリアル通信環境を設定します。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
＜シリアル通信環境設定＞						
CH 1 : ドライバ未ダウンロード						
使用 : <input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない						
通信速度 (bps) : <input type="radio"/> 4800 <input checked="" type="radio"/> 9600 <input type="radio"/> 19200 <input type="radio"/> 38400						
パリティ : <input type="radio"/> NONE <input checked="" type="radio"/> EVEN <input type="radio"/> ODD						
データ長 : <input type="radio"/> 7bit <input checked="" type="radio"/> 8bit						
ストップビット : <input checked="" type="radio"/> 1bit <input type="radio"/> 2bit						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

ドライバ名称

ダウンロードされているシリアル通信ドライバの名称を表示します。  
ダウンロードされていない場合は“ドライバ未ダウンロード”と表示されます。

使用

外部接続機器を使用するかしないかを指定します。ドライバがダウンロードされていない場合は“する”に設定しても使用できません。

通信速度 (bps)

通信速度を指定します。

パリティ

パリティチェックを指定します。

データ長

データ長を指定します。

ストップビット

ストップビットを指定します。

### 3 - 1 - 7 管理者設定の終了

管理者設定画面を終了し、運転画面に移行します。

- 以下の設定を行った場合、再初期化のため本装置は再起動します。
  - ・ 接続環境設定で実行ボタンをタッチした場合
  - ・ ブラウザ環境の最大接続数の設定を変更した場合
  - ・ ブラウザ環境のメモリキャッシュの設定を変更した場合
  - ・ メール環境のメール機能（使用する / 使用しない）の設定を変更した場合
  - ・ システム環境のツールバーの表示形式の設定を変更した場合
  - ・ システム環境のお気に入り機能（使用する / 使用しない）を変更した場合
  - ・ システム環境の動作中の設定移行の設定を変更した場合
  - ・ 表示環境のスクロールバーの表示の設定を変更した場合
  - ・ 表示環境のフレーム枠の表示の設定を変更した場合

### 3 - 2 ユーザ設定

ユーザ設定画面は、「管理者設定 システム環境設定 動作中の設定移行」をユーザ設定にしておくと、本装置が動作中にツールバーの設定アイコンがタッチされると表示されます。  
ユーザ設定画面では本装置のユーザ環境設定、メール環境設定を行うことが可能です。

<ユーザ環境設定>

スイッチクリック音：☒有 ☐無

スピーカ音量：☐0 ☐1 ☐2 ☐3 ☒4 ☐5 ☐6 ☐7

バックライトの明るさ：☐1 ☐2 ☐3 ☐4 ☐5 ☐6 ☐7 ☒8

バックライト消灯時間：分

System Version：VX.XX-XXXX

<メール環境設定>

タイトル表示：☒Mail Information ☐メール案内所

アドレス帳のソート：☐使用する ☒使用しない

メール発信者名：

メール署名：

設定する

設定しない



### 3 - 2 - 1 ユーザ環境設定

本装置の使用環境に応じて設定する項目です。

スイッチクリック音	入力フィールドやリンク等をタッチしたときのブザー音の有無を指定します。
スピーカー音量	スピーカの音量を設定します。 0 : スピーカをオフにします。(音はでません。) 1~7 : スピーカの音量を設定します。数値の大きい方が大きな音量となります。
バックライトの明るさ	バックライトの明るさを8段階で調整します。 8が最も明るく、1が最も暗くなります。
バックライト消灯時間	指定した時間の間タッチパネルをタッチしない場合に表示をOFFにします。99分まで1分単位で設定可能です。表示を常にONにするには、0分と指定してください。
System Version	システムプログラムのバージョン名を表示します。

### 3 - 2 - 2 メール環境設定

本装置に設定するメールに関する項目です。以下の項目は、「管理者設定 メール環境 メール機能」が使用するに設定されているときのみ表示されます。

タイトル表示	メール画面のタイトルを選択することができます。詳しくは <b>6 - 1 メールメニュー画面の呼び出し</b> を参照してください。
アドレス帳のソート	アドレス帳に登録した名前をS-JIS昇順に並べ替えます。詳しくは、 <b>6 - 6 - 3 アドレス帳のソート</b> を参照して下さい。
メール発信者名	メールの発信者の名前を設定します。メールを受信した側では、ここで設定した名前が差出人として表示されます。
メール署名	メールを作成するときに本文に引用される文字列を設定します。特に決まりはありませんが、一般的には4行迄で記述します。

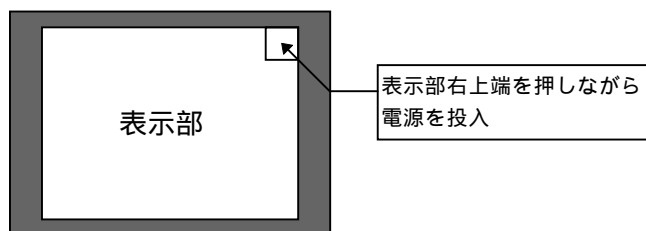


アドレス帳のソートは、メール環境設定で「アドレス帳のソート」を「行う」にチェックをいれた後、アドレス帳に新たなアドレスを登録した時点で名前をS - J I S 昇順でソートします。メール環境設定の「アドレス帳のソート」を「行う」にただけでは、ソートされません。

### 3 - 3 タッチパネルキャリブレーション

本装置は工場出荷時にタッチパネルのキャリブレーション調整を行ってあります。再調整が必要な場合は、以下の手順で設定を行ってください。

表示部の右上端をタッチしたまま電源を投入します。



タッチパネルキャリブレーション設定画面が表示されます。

画面の指示通りに左上端、左下端、右上端、右下端の4点のできるだけ画面の端を順にタッチしてください。

4点タッチされたあと、設定値を保存して再起動します。

### 3 - 4 運転の前に

初めて運転される場合は、運転を開始する前に以下の項目を確認ください。

- 各種システム設定は正しく行われていますか。
- コネクタは正しく装着されていますか。
- 電源は正しく供給されていますか。
- 配線は正しく接続されていますか。

## 4．ツールバー

### 4 - 1 ブラウザ画面

本装置が通常運転している場合の画面です。この画面には、サーバから読み込んだ画面とツールバーが表示されます。(ツールバーは設定により表示されない場合もあります。)ツールバーの表示形式には URL 形式とメニュー形式の 2 種類があります。

「システム環境 ツールバーの表示形式」で「URL表示」を選択した場合の表示



ツールバーには、通信インジケータ、URL、メール着信アイコンが表示されます。

通信インジケータ 通信中は流れるように表示されます。

URL 現在の表示しているページの URL が表示されます。

「システム環境 ツールバーの表示形式」で「メニュー表示(下)」または「メニュー表示(上)」を選択した場合の表示



通信インジケータ 通信中は流れるように表示されます。

アイコン 4 - 2 ツールバーの表示で説明される動作をします。

\* ツールバーは、「メニュー表示(下)」を選択しているときは画面下に、「メニュー表示(上)」を選択しているとき画面上に表示します。

### 4 - 2 ツールバーの表示

ブラウザ画面に表示されるツールバーは、「システム環境設定 ツールバーの表示形式」で設定された形で表示されます。URL 形式の場合は、「システム環境設定 メニューポップアップ条件」で設定した方法でタッチすると表示されます。メニュー形式に設定している場合、「システム環境設定 ツールバーの表示形式」で設定した場所に表示されます。

URL 形式のツールバーの表示を閉じるには、ツールバー以外の部分をタッチすると元の状態に戻ります。メニュー形式のツールバーは常に表示されます。

ツールバーには、戻る、進む、再読み込み、ホーム、中止、ジャンプ、設定、のアイコンがあります。

「URL表示」 アイコン	「メニュー表示」 アイコン	機能	説明
		戻る	現在表示している画面のひとつ前の画面を表示します。
		進む	現在表示している画面のひとつあとの画面を表示します。

「URL表示」アイコン	「メニュー表示」アイコン	機能	説明
		再読込	現在表示中の画面を再読み込みします。
		ホーム	「ホームページ」で指定したページを表示します。 ホームページの指定はブラウザ環境設定画面で行います。
		中止	画面の読み込みを中止します。
	表示されません	ジャンプ	URL を指定するキーボードを表示します。 キーボードに入力された URL にジャンプします。
		お気に入り	お気に入り機能呼び出し。
		設定	管理者設定画面またはユーザ設定画面が表示されます。 「動作中のシステム設定移行」の設定が「移行しない」になっている場合は表示されません。
		SSL 表示	SSL 通信（暗号化通信）を行っている状態を表します。
		SSL 表示	SSL 通信（暗号化通信）を行っていない状態を表します。
		メール着信	メールサーバにメールが着信したことを知らせます。 メニュー形式の表示のとき、アイコンをタッチするとメールメニュー画面が表示されます。 URL 形式のときはアイコンをタッチしてもメールメニュー画面は表示されません。

## 5 . お気に入り

### 5 - 1 お気に入り機能

本装置には現在閲覧しているページのURLを登録したり、登録したURLを呼び出す機能(以下、お気に入り機能と呼びます)があります。



- 「お気に入り」に登録できるページ数は50件までです。それ以上は登録できません。

### 5 - 2 お気に入り機能の操作

#### 5 - 2 - 1 お気に入りの起動

ツールバーのお気に入りアイコンをタッチすると下図のように「お気に入り 選択・登録・整理」画面が表示されます。



#### 5 - 2 - 2 お気に入りページの登録

閲覧しているページを「お気に入り」に登録する場合、「お気に入りに登録」ボタンをタッチします。「お気に入り 選択・登録・整理」画面にそのページの「タイトル」、「URL」が表示されます。なお、「タイトル：」右横の入力フィールドをタッチするとソフトウェアキーボードが表示され、登録するタイトル名を入力することができます。



お気に入り : タイトル・URL登録

「登録」ボタンを押すと、現在表示しているタイトル・URLが登録されます。  
「中止」ボタンで以前の画面に戻ります。

タイトル : KOMATSU Home Page

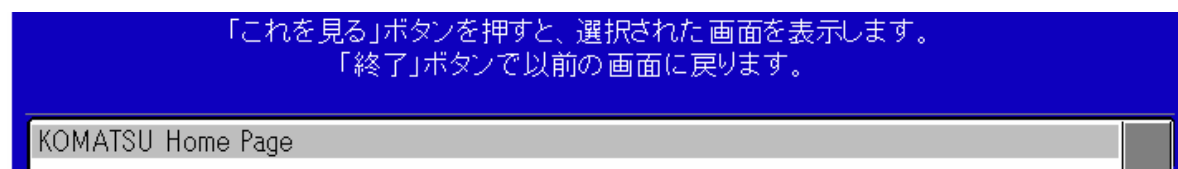
URL : http://www.komatsu.co.jp/index.html

登録 中止

### ヒント

- HTML文書の<TITLE>タグにタイトル名が記述されていない場合、登録を行うと「タイトル」にはURLが表示されます。

「登録」ボタンをタッチすると、「お気に入り 選択・登録・整理」画面に登録したページの「タイトル」が表示されます。

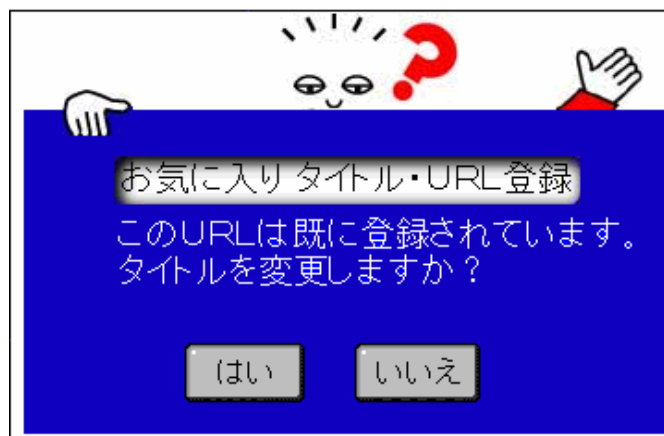


「これを見る」ボタンを押すと、選択された画面を表示します。  
「終了」ボタンで以前の画面に戻ります。

KOMATSU Home Page

### 重要

- 「タイトル」に登録できる文字数は80文字までです。それ以上は入力できません。
- URLの文字数が511文字を超えるページは登録できません。
- 既に「お気に入り」に登録したURLのページを再度登録する場合、以前登録した「タイトル」に上書きされます。（「タイトル」を変更した場合、そのタイトルに上書きされます。）



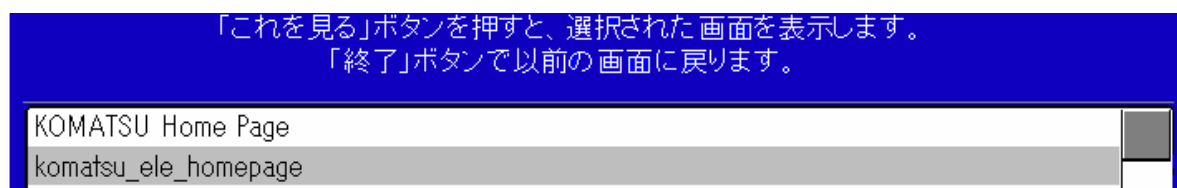
お気に入り タイトル・URL登録

このURLは既に登録されています。  
タイトルを変更しますか？

はい いいえ

### 5 - 2 - 3 登録ページの表示

「お気に入り 選択・登録・整理」画面でお気に入りに登録したページの「タイトル」を選択し反転表示させます。「これを見る」アイコンをタッチすると、選択されたページへリンクされます。



### 5 - 2 - 4 タイトル変更

登録したページの「タイトル」を変更する場合、そのページの「タイトル」を「お気に入り 選択・登録・整理」画面で選択し反転表示させ、タイトル変更アイコンをタッチします。

「お気に入り タイトル変更」画面で「タイトル：」右横の入力フィールドをタッチするとソフトウェアキーボードが表示されるので、変更したい「タイトル」を入力します。入力後、「確定」ボタンをタッチすると「お気に入り 選択・登録・整理」画面に変更した「タイトル」が表示されます。

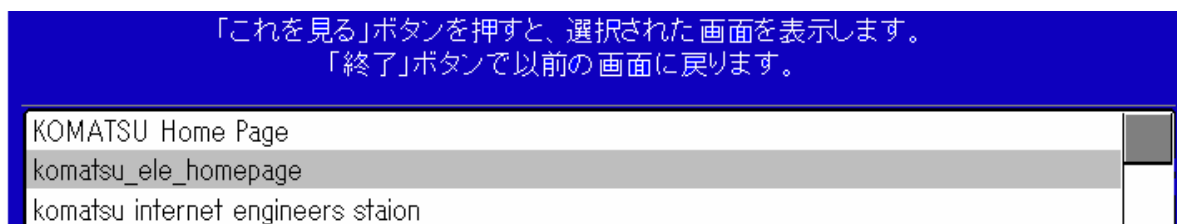


- 「タイトル」に登録できる文字数は80文字までです。それ以上は入力できません。

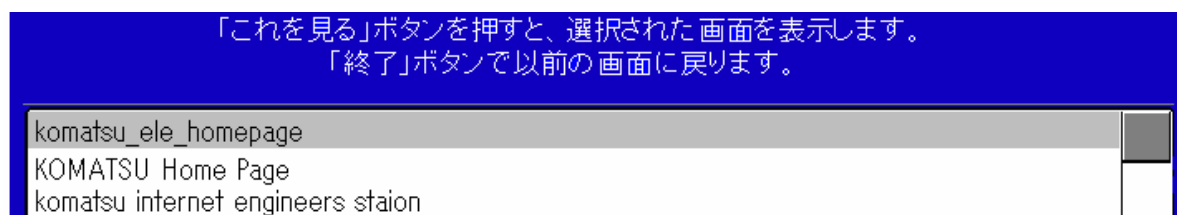
### 5 - 2 - 5 整理

「これを上」、「これを下」ボタンをタッチすると選択中の「タイトル」の位置が上下に移動します。これを使う事でよく参照するページの「タイトル」を上に移動したり、「お気に入り」の整理を行うことができます。

「お気に入り タイトル変更」画面で「これを上」ボタンをタッチします。



選択中のタイトルが上に移動します。「これを下」ボタンをタッチするとタイトルは下に移動します。



### 5 - 2 - 6 削除

登録されているお気に入りページを削除したい場合、そのページの「タイトル」を「お気に入り 選択・登録・整理」画面で選択し反転表示させ、「これを削除」ボタンをタッチします。「登録を削除します。よろしいですか？」とコメントされた画面が表示されます。「はい」ボタンをタッチすると登録が削除されます。



### 5 - 2 - 7 終了

「お気に入り 選択・登録・整理」画面で「終了」ボタンをタッチすると「お気に入り機能」が終了し初期画面に戻ります。



## 6 . メール画面

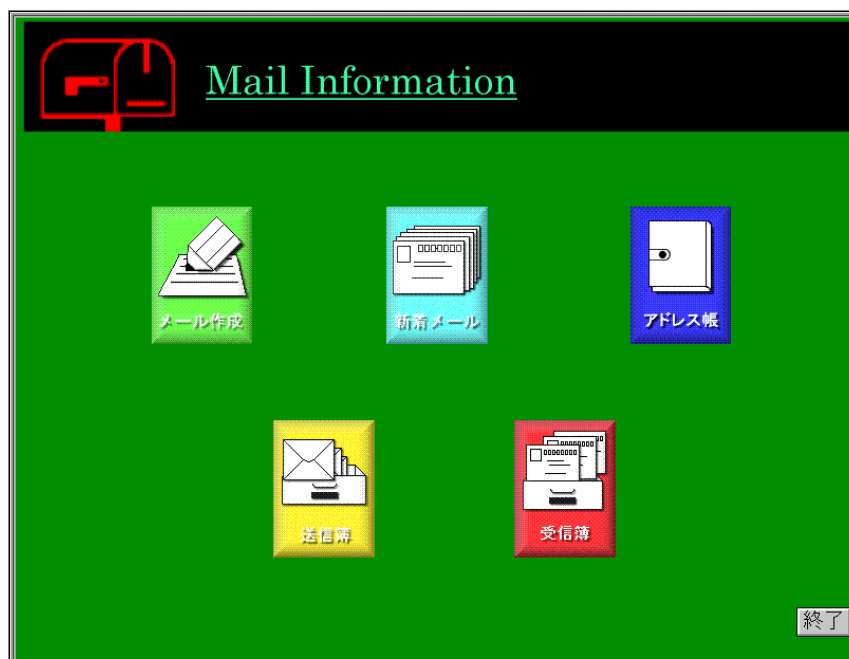
### 6 - 1 メールメニュー画面の呼び出し

メールメニュー画面は、HTML ドキュメントに記述したリンクをタッチすることにより表示できます。または、ツールバーのメール着信アイコンをタッチすることで表示されます。HTML ドキュメントの記述方法については 10 . HTML ドキュメント作成資料の 10 - 4 メールメニュー画面への移行を参照してください。

メールメニュー画面には以下の 5 種類のアイコンと 1 種類のボタンが表示されます。

メールメニューのタイトルは、3 - 1 - 3 メール環境設定のタイトル表示で選択することができます。

タイトル表示で <Mail Information> が選択されている場合（初期設定はMail Informationになっています。）



タイトル表示で <メール案内所> が選択されている場合



## 6 - 2 メール作成

メールを書くためにメール作成画面が表示されます。メールの宛先や本文等を入力してください。

メール作成画面には新規・返信・転送の3種類のモードがあり、現在のモードは画面上部に表示されます。各モードともメール作成の機能は同じですが、メール作成画面を終了したときに表示される画面が違います。ここでは新規モードについて説明します。返信モードについては6 - 5 - 1 受信メールの返信を、転送モードについては転送を参照してください。

### <表示の説明>

#### 宛先

メールを送りたい相手のアドレスを入力してください。

宛先のあとの空欄をタッチするとキーボードが表示されるので、アドレスを入力してください。複数の相手に送る場合は、アドレスを「,」で区切って入力してください。表示の幅を越える部分は表示されません。

アドレス帳を使うと、すでに登録されている相手のアドレスを簡単に入力することができます。アドレス帳アイコンをタッチすると一覧が表示されます。この一覧の中から相手のアドレスを選んで決定をタッチしてください。宛先の欄に選んだ相手のアドレスが表示されます。中止をタッチするとアドレスは表示されません。複数のアドレスを入力するときの「,」は自動的に入力されますので、アドレスを次々に選択するだけで入力が完了します。

#### 複写先

宛先に入力したアドレスの相手以外に、このメールを送信したい相手のアドレスを入力します。

複写先のあとの空欄をタッチして入力してください。表示幅を超える部分は表示されません。

ここでも、アドレス帳を使って入力することができます。

題名	<p>このメールのタイトルを入力します。</p> <p><b>題名</b>のあとの空欄をタッチして入力してください。表示幅を超える部分は表示されません。</p>
本文	<p>メールの本文を入力してください。</p> <p><b>本文</b>のあとの大きな空欄をタッチして入力してください。表示領域を超える部分はスクロールバーでスクロールすると表示されます。</p> <p><b>* 本装置で送信できるメールの大きさは約30Kbyteまでです。これを超えた部分は送信されません。</b></p>
<p>&lt; ボタンの説明 &gt;</p> <p><b>送信</b></p>	
<p><b>あとで送信</b></p>	
<p><b>やめる</b></p>	

作成したメールをすぐに送信します。本装置では、約30KByte（メールヘッダを含む）までのメールを送信することができます。

送信中はメッセージが表示され、終了するとメール作成画面を呼び出した画面が表示されます。送信したメールは50本まで**送信簿に保存されます**。

宛先にアドレスが入力されていないとエラーメッセージが表示されます。**はい**をタッチするとメール作成画面に戻ります。

送信に失敗するとエラーメッセージが表示されます。**はい**をタッチするとメニュー画面が表示されます。このとき送信できなかったメールは**送信簿に保存されず**。送信メール一覧を見ると、未送セルにマーク（ ）が付いています。

今作成したメールをすぐに送信せずに、あとで送信します。

ボタンをタッチすると、保存中メッセージが表示されたあとメール作成画面を呼び出した画面が表示され、送信したメールが**送信簿に保存されます**。保存したメールを送信するには、送信簿アイコンをタッチしメール作成画面を表示して行います。

メール作成画面のすべての入力項目に一つも入力されていないとメッセージが表示され、**はい**をタッチするとメール作成画面を呼び出した画面が表示されます。このときのメールは**保存されません**。

作成したメールを送信せずに終了します。

ボタンをタッチすると確認のメッセージが表示されます。**はい**をタッチするとメニュー画面を呼び出した画面が表示されます。**いいえ**をタッチするとメール作成画面に戻ります。

### 6 - 3 送信簿

メール作成画面で作成したメールの一覧が表示されます。一覧には最後に作成したメールが先頭から順次、表示されます。画面上部には、一覧のページ数と保存しているメールの総数、未送信のメール数が表示されます。

2/3ページ  
未送信23通／36通

未送	宛先	題名	削除
<input checked="" type="radio"/>	<hana@penguin>	RE: キャンプに行こう！	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="radio"/>	<taro@penguin>	RE: ペンギン型のロボットが欲しい	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="radio"/>	<yamari@penguin>		<input type="checkbox"/>
	<hana@penguin>		<input checked="" type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>

**<表示の説明>**

未送セル

未送信のメールにマーク（ ）が付き  
メールを送信するとマーク（ ）は自動的に消えます。

宛先セル

メールの送り先アドレスが表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

このセルをタッチするとメール作成画面が表示され、メールの修正をしたり、送信したりすることができます。

\* ここから表示するメール作成画面での各機能は新規メール作成画面と同じですが、各機能を終了したあとは送信メール一覧が表示されます。

## 題名セル

メールの題名が表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。  
このセルをタッチするとメール作成画面が表示され、メールの修正をしたり、送信したりすることができます。

\*ここから表示するメール作成画面での各機能は新規メール作成画面と同じですが、各機能を終了したあとは送信メール一覧が表示されます。

## 削除セル

削除したいメールを指定します。  
セルの中の ☐ をタッチするとチェック ( ☒ ) が表示され、削除の対象となり

ます。削除ボタンをタッチするとそのメールが削除されます。

**\* 削除セルのチェック (×) は表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェックが解除されます。**

**< ボタンの説明 >**

**メニューへ** 送信簿を終了してメニュー画面に移行します。

**前ページ** 送信メール一覧の前ページが表示されます。

**次ページ** 送信メール一覧の次ページが表示されます。

**全削除** 保存されているメールをすべて削除します。  
ボタンをタッチすると確認メッセージが表示されます。**はい**をタッチするとすべてのメールが消去され、送信メール一覧が表示されます。**いいえ**をタッチするとメールは消去されずに、そのまま送信メール一覧が表示されます。

**\* 全削除ボタンは削除セルのチェック (×) の有無にかかわらず、すべてのメールを削除します。**

**削除** 保存されているメールを削除します。  
削除セルでチェック (×) されているメールがすべて削除されます。

**\* 削除セルのチェック (×) は表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェック (×) が解除されます。**

## 6 - 4 新着メール

サーバに着信しているメールをダウンロードします。

「新着メール」をタッチすると、メール受信中のメッセージが表示されサーバに保存されているメールをダウンロードします。受信したメールは受信簿に 50 本まで保存されます。サーバに保存されているメールは本装置の設定により、ダウンロード時にサーバから消去することができます。この指定は 3 - 1 管理者設定の 3 - 1 - 3 メール環境設定の受信メール自動削除で行います。

新着メールアイコンをタッチするとサーバからのメールのダウンロードが始まります。

新着メールがある場合は、ダウンロードが終了すると受信完了のメッセージとメール受信数が表示され、受信簿を開くかどうか聞かれます。受信したメールを読みたいときは、**はい**をタッチしてください。受信簿画面が表示されます。受信したメールを読まないときは、**いいえ**をタッチしてください。メニュー画面が表示されます。

新着メールが無いときは、未着信のメッセージが表示されます。**はい**をタッチするとメニュー画面が表示されます。

本装置では、ヘッダー部まで含めて約 20Kbyte までのメールが受信できます。これを越えるメールを受信すると約 20Kbyte 分だけ保存し、越えた分は削除されます。このメールを受信簿で見ると、保存された分だけが表示され、最終行に「このメールは大きすぎるので、約 20KB だけ保存しました。」と表示されます。

## 6 - 5 受信簿

受信したメールの一覧が表示されます。一覧には最後に受信したメールが先頭から順次、表示されます。画面上部には、一覧のページ数と受信メールの総数、未読メールの数が表示されます。

\* 表示順は本装置がメールを受信した順です。表の送信日時の順ではありません。

2/3ページ 未読23通/30通				
受信簿				
未読	差出人	送信日時	題名	削除
●	“佐藤太郎” <taro@penguin>	1999/09/07 20:02	RE: ペンギン型ロボットが欲...	<input type="checkbox"/>
●	“鈴木一郎” <sichiro@lascal>	1999/09/07 19:59	RE: キャンプに行きましょう！	<input type="checkbox"/>
●	“田中花子” <hana@penguin>	1999/09/04 23:59	RE: キャンプに行きましょう！	<input type="checkbox"/>
	“鈴木紀子” <norichan@penguin>	1999/09/07 19:42	キャンプに行きましょう！	<input type="checkbox"/>
●	“北地恵子” <kyata@amedeo>	1999/09/07 19:36		<input type="checkbox"/>
●	“北地恵子” <kyata@amedeo>	1999/09/07 19:34		<input type="checkbox"/>
●	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/07 19:25		<input type="checkbox"/>
	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/07 19:23		<input checked="" type="checkbox"/>
●	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/06 15:58		<input type="checkbox"/>
●	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/06 15:42		<input type="checkbox"/>
	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/05 01:17		<input checked="" type="checkbox"/>
	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/05 01:17		<input checked="" type="checkbox"/>
	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/04 23:29		<input checked="" type="checkbox"/>
	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/04 22:57		<input checked="" type="checkbox"/>

メニューへ

前ページ

次ページ

全削除

削除

### <表示の説明>

#### 未読セル

未読のメールにマーク（●）がつきます。  
題名セルをタッチしてメールを読むとマーク（●）は自動的に消えます。

#### 差出人セル

メールの差出人のアドレスが表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。  
このセルをタッチすると受信メール画面が表示され、メールを読むことができます。

#### 送信日時

差出人がメールを送信した日時が表示されます。  
このセルをタッチすると受信メール画面が表示され、メールを読むことができます。

#### 題名セル

メールの題名が表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。  
このセルをタッチすると受信メール画面が表示され、メールを読むことができます。

#### 削除セル

削除したいメールを指定します。  
セルの中の ☐ をタッチするとチェック（x）が表示され、削除の対象となります。削除をタッチするとそのメールが削除されます。

**\* 削除セルのチェック ( × ) は表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェックが解除されます。**

**< ボタンの説明 >**

**メニューへ**            受信簿を終了してメニュー画面へ移行します。

**前ページ**            受信メール一覧の前のページが表示されます。

**次ページ**            受信メール一覧の次のページが表示されます。

**全削除**            保存されているメールをすべて削除します。  
ボタンをタッチすると、確認メッセージが表示されます。はいをタッチするとメールがすべて消去されて受信メール一覧が表示されます。いいえをタッチするとメールは消去されずにそのまま受信メール一覧が表示されます。

**\* 「全削除」は削除セルのチェック ( × ) の有無にかかわらず、すべてのメールを削除します。**

**削除**            保存されているメールを削除します。  
ボタンをタッチすると、削除セルでチェック ( × ) されているメールがすべて削除されます。

**\* 削除セルのチェック ( × ) は表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェック ( × ) が解除されます。**

### 6 - 5 - 1 受信メール

受信したメールの内容が表示されます。画面上部には、このメールが未読であるか既読であるかが表示されます。

未読		受信簿	
メニューへ		前メール	次メール
アドレス登録		削除	返信
転送		戻る	
■差出人	"鈴木 太郎"<taro@penguin>		
■宛先	"田中 花子"<hana@penguin>		
■複写先			
■題名	ペンギン型ロボットが欲しい		
■送信日時	Tue, 07 Sep 1999 22:48:49 +0900		
■本文	こんにちは。 -----		

#### < ボタンの説明 >

メニューへ 受信簿を終了してメニュー画面へ移行します。

前メール 受信簿の受信メール一覧での前のメールが表示されます。

次メール 受信簿の受信メール一覧での次のメールが表示されます。

アドレス登録 メール差出人、宛先、複写先に含まれるアドレスを登録します。  
ボタンをタッチすると一括登録アドレス帳画面が表示されます。操作方法については6 - 6 アドレス帳の6 - 6 - 2 アドレス一括登録を参照してください。

\* 差出人アドレス、宛先アドレス、複写先アドレスが登録する対象となり、一括登録アドレス帳画面の一覧表に表示されます。

削除 表示しているメールを削除します。  
ボタンをタッチすると確認メッセージが表示されます。はいをタッチするとメールが削除されて受信メール一覧が表示されます。いいえをタッチするとそのまま受信メール画面が表示されます。

返信 表示している受信メールに返事を書きます。  
ボタンをタッチすると、まず複写先の確認メッセージが表示されます。はいをタッチすると、表示しているメールの宛先・複写先に含まれているアドレ



スが返信メールの複写先に引用されて、全員宛での返信になります。いいえをタッチすると、アドレスは引用されず差出人のみへの返信になります。次に、本文の引用を確認するメッセージが表示されます。はいをタッチすると表示しているメールの本文が返信に引用されます。いいえをタッチすると本文は引用されません。このあと、メール作成画面が返信モードで表示されます。

- \* 返信メールの宛先には、受信メールのヘッダーにreply-to:が記述されている場合はそこに記述されているアドレス、reply-to:が記述されていない場合はfrom:に記述されているアドレスが設定されます。
- \* 返信メールの複写先には本装置に設定されたメールアドレスは含まれません。
- \* 返信モードでの各機能は新規モードと同じですが、各機能を終了したあとは受信メール画面が表示されます。

#### 転送

表示している受信メールを他の宛先に転送します。ボタンをタッチするとメール作成画面が転送モードで表示されます。転送メールの本文には、表示されているメールの本文が引用され、その上下に転送であることを示すメッセージが自動的に挿入されます。

- \* 転送モードでの各機能は新規モードと同じですが、各機能を終了したあとは受信メール画面が表示されます。

#### 戻る

##### <表示の説明>

##### 差出人

受信メール画面を終了して受信メール一覧が表示されます。

メールの差出人のアドレスが表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

##### 宛先

メールの宛先のアドレスが表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

##### 複写先

メールの複写先のアドレスが表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

##### 題名

メールの題名が表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

##### 送信日時

差出人がメールを送信した日時が表示されます。

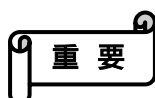
##### 本文

メールの本文が表示されます。  
メールの大きさが約20Kbyteを超える場合は本文が約20Kbyte分表示され、最終行に「このメールは大きすぎるので、20KBだけ保存しました。」と表示されます。

## 6 - 6 アドレス帳

登録したメールアドレスの一覧と画面上部にページ数が表示されます。アドレスを100件まで登録することができます。アドレスを登録する方法には、一つずつ登録する方法と一括登録する方法があります。下記の画面は、一つずつ登録する方法の画面です。一括登録するには、受信簿の受信メール画面でアドレス登録ボタンをタッチします。

アドレス帳にメールアドレスを登録しておくと、メール作成画面でメールの宛先や複写先を簡単に入力することができます。



- 「アドレス帳」に登録できる件数は100件です。それ以上は登録できません。

アドレス一覧  
2/3ページ
 
**アドレス帳**

名前	アドレス	削除
	nf298760a@pukapuka	<input checked="" type="checkbox"/>
“田中花子”	hana@penguin	<input type="checkbox"/>
山田真理子 in 台所	yamari@penguin	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>

メニューへ
前ページ
次ページ
新規登録
削除

### <表示の説明>

#### 名前セル

アドレスにつけた名前が表示されます。  
セルをタッチするとアドレス登録画面が編集モードで表示され、登録内容を変更することができます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

#### アドレスセル

登録されているアドレスが表示されます。  
セルをタッチするとアドレス登録画面が編集モードで表示され、登録内容を変更することができます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

#### 削除セル

削除したいアドレスを指定します。  
セルの中の ☒ をタッチするとチェック ( × ) が表示され、削除の対象となります。削除をタッチするとそのアドレスが削除されます。

**\* 削除セルのチェックは表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェックが解除されます。**

### <ボタンの説明>

#### メニューへ

アドレス帳を終了してメニュー画面へ移行します。

#### 前ページ

登録アドレスの一覧が複数ページの時、前のページが表示されます。

#### 次ページ

登録アドレスの一覧が複数ページの時、次のページが表示されます。

#### 新規登録

新しいアドレスを登録します。  
ボタンをタッチするとアドレス登録画面が新規モードで表示されます。

#### 削除

登録されているアドレスを削除します。

削除セルでチェック（×）されているアドレスがすべて削除されます。

\* 削除セルのチェックは表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェックが解除されます。



- 「アドレス帳」は「名前」をS - J I S昇順でソートすることができます。詳しくは6 - 6 - 3 アドレス帳のソートを参照してください。

#### 6 - 6 - 1 アドレス登録

メールアドレスを登録するための画面が表示されます。アドレス登録画面には新規・編集の2種類のモードがあり、現在のモードは画面上部に表示されます。各モードともアドレスを登録する機能は同じですが、編集モードのときは登録ボタンとやめるボタンの間に削除ボタンが表示されます。

##### <表示の説明>

###### 名前

アドレスにつける名前を入力します。

名前のあとの空欄をタッチするとキーボードが表示されるので、名前を入力してください。

###### アドレス

アドレスを入力します。

アドレスのあとの空欄をタッチして入力してください。

##### <ボタンの説明>

## 登録

入力したアドレスをアドレス帳に登録します。  
ボタンをタッチすると登録中のメッセージが表示され、登録が終了するとアドレス一覧が表示されます。

## 削除

表示されているアドレスをアドレス帳から削除します。  
ボタンをタッチすると確認のメッセージが表示され、**はい**をタッチするとアドレスが削除されてアドレス一覧が表示されます。**いいえ**をタッチすると、そのままアドレス帳登録画面が表示されます。

**\*このボタンは編集モードのときにのみ表示されます。**

## やめる

入力したアドレスを登録せずに登録画面を終了します。  
ボタンをタッチすると確認のメッセージが表示され、**はい**をタッチするとアドレスは登録されずにアドレス一覧が表示されます。**いいえ**をタッチすると、そのままアドレス帳登録画面が表示されます。

## 6 - 6 - 2 アドレス一括登録

受信簿に保存されたメールからメールアドレスを登録するための画面が表示されます。画面上部にはモードとページ数が表示されます。

この画面は、受信簿の受信メール画面でアドレス登録ボタンをタッチすると表示されます。

\* 受信メールの差出人アドレス、宛先アドレス、複写先アドレスが一括登録する対象となります。

一括登録  
2/3ページ
 

アドレス帳

名前	アドレス	登録
“鈴木太郎”	taro@penguin	<input type="checkbox"/>
“田中花子”	hana@penguin	<input type="checkbox"/>
	abc123@panda	<input checked="" type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>

前ページ
次ページ
登録
戻る

### <表示の説明>

**名前セル**                      アドレスにつけた名前が表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

**アドレスセル**                登録されているアドレスが表示されます。

**登録セル**                    登録したいアドレスを指定します。  
セルの中の ☐ をタッチするとチェック ( × ) が表示され、登録の対象となります。

\* 登録セルのチェックは表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェックが解除されます。

### <ボタンの説明>

**前ページ**                    登録アドレスの一覧が複数ページの時、前のページが表示されます。

**次ページ**                    登録アドレスの一覧が複数ページの時、次のページが表示されます。

## 登録

アドレスを一括登録します。

ボタンをタッチすると、登録セルでチェック（×）されているアドレスがアドレス帳に登録されます。登録が終了すると登録数と確認メッセージが表示され、**はい**をタッチするとアドレス一括登録画面が表示されます。

登録アドレス一覧が複数ページあるときは、次ページボタンまたは前ページボタンでページを変えて同じ操作を繰り返してください。

ボタンをタッチしたときに登録セルにチェック（×）が一つもされていないときは、登録確認メッセージが表示され**はい**をタッチするとアドレス一括登録アドレス帳画面に戻ります。

## 戻る

ボタンをタッチするとアドレスは登録されずに受信メール画面が表示されます。

### 6 - 6 - 3 アドレス帳のソート

メール環境設定で「アドレス帳のソート」を「行う」設定にした場合、次回アドレス登録時よりアドレス帳の名前をS - J I S昇順でソートします。（「行わない」設定の場合、登録順に並べられます。）

#### 重要

- メール環境設定の「アドレス帳のソート」を「行う」にただけでは、実行されません。アドレス帳のソートは、メール環境設定で「アドレス帳のソート」を「行う」にチェックをいれた後、アドレス帳に新たなアドレスを登録した時点で名前をS - J I S昇順でソートします。
- ソートは名前をS - J I S昇順で行うためソート結果が名前の読みの50音順とは異なることがあります。
- アドレス帳のソートを行なった後に再びメール環境設定の「アドレス帳のソート」を「行わない」に変更しても、アドレス帳の並び順はソート前の状態に戻りません。

- 例： 「アドレス帳のソート」を「行わない」設定にしている場合

アドレス帳一覧  
1/1ページ

 **アドレス帳**

名前	アドレス	削除
小松 太郎	taro@komatusu.co.jp	<input type="checkbox"/>
エレ事 太郎	ele@komatusu.co.jp	<input type="checkbox"/>
fA 太郎	fa@komatusu.co.jp	<input type="checkbox"/>
		「
		「
		「
		「
		「
		「
		「
		「
		「
		「
		「
		「
		「

メニューへ新規登録削除

- 例： 「アドレス帳のソート」を「行う」設定にしている場合

[illegible]

6 - 7 終了

終了ボタンをタッチすると、メールメニュー画面を終了します。

## 7. ソフトウェアキーボード

### 7-1 ソフトウェアキーボードの概要

本装置には、オリジナル配置のソフトウェアキーボードが数種類用意されています。このソフトウェアキーボードはHTMLドキュメントのタグから呼び出すことができます。呼び出し方は、**10. HTMLドキュメント作成資料の10-8ソフトウェアキーボードの指定**を参照してください。

ひらがな入力	ひらがなの入力が行える状態でキーボードが表示されます。
カタカナ入力	カタカナの入力が行える状態でキーボードが表示されます。
記号入力	記号の入力が行える状態でキーボードが表示されます。
アルファベット入力	アルファベットの入力が行える状態でキーボードが表示されます。 このキーボードでは、アルファベット以外は入力できません。
テンキー入力(小)	数字だけを入力する小さいキーボードが表示されます。
テンキー入力(大)	数字だけを入力する大きいキーボードが表示されます。
16進入力(小)	16進数だけを入力する小さいキーボードが表示されます。
16進入力(大)	16進数だけを入力する小さいキーボードが表示されます。

ここでは、かなキーボードを例にとって説明します。

英数	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退	削除	全削除	7	8	9
かな	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	改行	前候補	取消	4	5	6
カナ	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	っ	す	く	う	変換		確定	1	2	3
記号	,	れ	,	め	へ	ね	て	せ	け	え	文節縮	↑	文節伸	0	.	,
小文字	.	ろ	.	も	ほ	の	と	そ	こ	お	←	↓	→	+	-	:
半角	ー	「	」	(	)	!	?	.	～	空白	終了		中止	*	/	=

キーボードのキー配置は、機能別に4ブロックに分れています。左から文字選択キー群、文字入力キー群、機能選択キー群、テンキー群となっており、それぞれの機能に応じて色分けされています。



## 7 - 2 文字選択キー群

キーボードに表示する文字を選択するためのキーです。キー選択されるとキートップの色が変わります。大文字・小文字キーと全角・半角キーは次にキーをタッチされたときに表示する文字が表示されるので、現在表示されている文字の逆が表示されます。また、記号が選択されているときは、それぞれ表・裏キー、区点キーになります。

英数	キーをタッチすると、アルファベット（英数）を入力するためのキーボードが表示されます。大文字・小文字キーで大文字と小文字の選択ができ、全角・半角キーで全角と半角の選択ができます。半角キーボードにはURLやアドレスの入力が簡単にできる文字列キーが用意されています。
かな	キーをタッチすると、ひらがなを入力するためのキーボードが表示されます。大文字・小文字キーで「ちゃ」のような、ひらがなの小文字を入力することができます。  <b>* 小文字キーボードでは大文字の入力できません。また、半角文字は用意されていません。（キートップが白抜きで表示されます。）</b>
カナ	キーをタッチすると、カタカナを入力するためのキーボードが表示されます。大文字・小文字キーでカタカナの小文字を入力することができます。  <b>* 小文字キーボードでは大文字の入力できません。また、半角文字は用意されていません。（キートップが白抜きで表示されます。）</b>
記号	キーをタッチすると、記号を入力するためのキーボードが表示されます。記号の一種として顔文字が10種類入力できます。記号キーボードのときは、大文字・小文字キーと全角・半角キーがそれぞれ、表・裏キーと区点キーになります。表・裏キーをタッチすると、それぞれ違う記号が表示されます。区点キーをタッチすると、区点入力ができます。
小文字	キーをタッチすると、アルファベット（英数）、ひらがな（かな）、カタカナ（カナ）の各キーボードのときに、小文字を入力するためのキーボードが表示されます。  <b>* 記号キーボードのときは表・裏キーになります。</b>
半角	キーをタッチすると、アルファベット（英数）キーボードのときに半角文字を入力するためのキーボードが表示されます。  <b>* かなキーボードとカナキーボードのときは、キートップが白抜きで表示されて使用できません。また、記号キーボードのときは、区点入力キーになります。</b>
表・裏	キーをタッチすると、記号キーボードの表示が表から裏へ、裏から表へと入れ替わります。  <b>* 記号キーボード以外では表示されません。</b>
区点	キーをタッチすると、区点入力キーボードがポップアップします。入力したい文字の区点番号を4桁の数字で入力してください。4桁目を入力すると、区点キーボードは自動的に閉じて文字が入力されます。  <b>* 記号キーボード以外では表示されません。</b>

### 7 - 3 文字入力キー群

文字や記号を入力するためのキーです。キーをタッチするとキートップがタッチされた状態になり、文字や記号が入力されます。放すと元の状態に戻ります。

文字	アルファベット（英数）、ひらがな（かな）、カタカナ（カナ）、記号を入力するためのキーです。文字選択キーをタッチすることによって、それぞれの文字や記号がキーボードに表示されます。
空白	空白を入力します。全角・半角の区別があります。

### 7 - 4 機能キー群

入力した文字を編集したり、漢字変換をするための特殊な機能を持ったキーです。キーをタッチするとキートップがタッチされた状態になり、機能が実行されます。放すと元の状態になります。

後退	カーソルの左側の1文字が削除されます。（Back Spaceキー） 漢字変換中は無効です。
削除	カーソルの右側の1文字が削除されます。（Deleteキー） 漢字変換中は無効です。
全削除	入力エリアに表示されている文字をすべて削除します。 全削除キーをタッチすると、確認のメッセージが表示されます。はいをタッチするとすべての入力が削除されます。いいえをタッチすると入力は削除されません。 文字入力中（文字が青で表示されている状態）で漢字変換する前は、入力した文字を無効にします。 漢字変換中は無効です。
改行	複数行を入力するときに、改行を行います。 文字入力中は、変換中の文節すべてを確定します。
前候補	漢字変換中の文節の、一つ前の候補を表示します。 漢字変換中のみ有効です。
取消	入力をキャンセルします。（Escape） 漢字変換中は変換をキャンセルし、漢字変換前の状態に戻します。
変換	入力した文字の変換をします。もう一度タッチすると、次の候補が表示されます。
確定	入力を確定します。 漢字変換中は変換中の文節までを確定します。
文節縮	漢字変換中の文節を短くします。 漢字変換中のみ有効です。
文節伸	漢字変換中の文節を長くします。 漢字変換中のみ有効です。  入力した文章内でカーソルを上に移動します。 文字入力中・漢字変換中は無効です。  入力した文章内でカーソルを下に移動します。 文字入力中・漢字変換中は無効です。

入力した文章内でカーソルを左に移動します。  
漢字変換中は文節単位で左に移動します。

入力した文章内でカーソルを右に移動します。  
漢字変換中は文節単位で右に移動します。

**終了** 入力した文章を有効にして、キーボードによる入力を終了します。ソフトウェアキーボードは自動的に消されて、元の画面が表示されます。

**中止** キーボードによる入力を中止します。  
キーをタッチすると確認のメッセージが表示されます。**はい**をタッチすると入力した文章を無効にして終了します。**いいえ**をタッチすると入力を続けます。

## 7 - 5 テンキー群

数字と記号を入力するためのキーです。

**数字** 数字を入力します。全角・半角の区別があります。

**\* ひらがな入力・カタカナ入力のときは全角のみです。**

**記号** 記号を入力します。全角・半角の区別があります。

**\* ひらがな入力・カタカナ入力のときは全角のみです。**

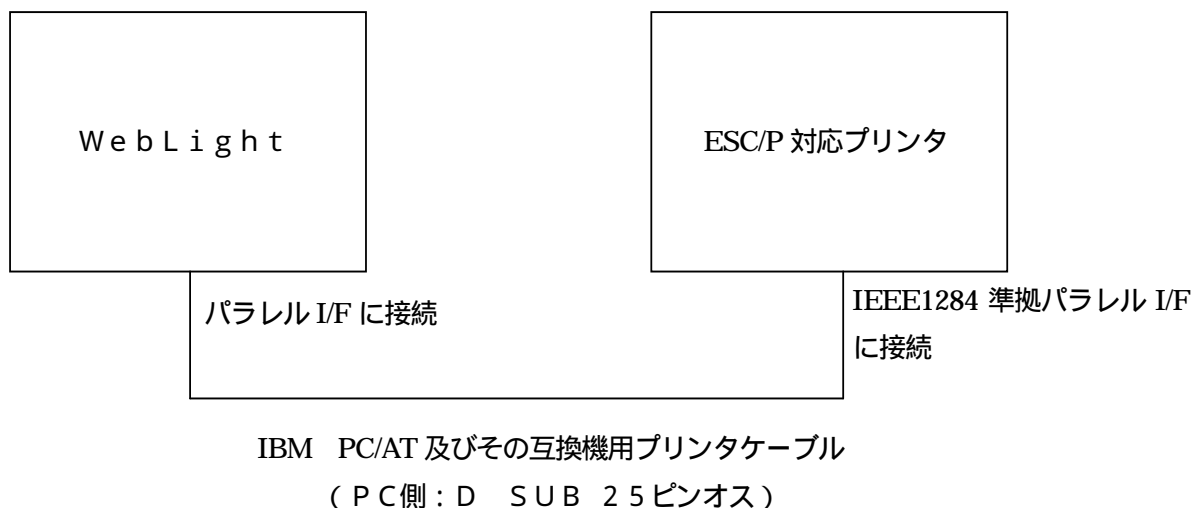
## 8 . 画面ハードコピー

### 8 - 1 画面ハードコピーの概要

パラレルタイプ ( K D T 3 1 2 S C A D G ) は、プリンタを接続することにより画面のハードコピーを印刷することができます。

### 8 - 2 パラレルタイプ ( K D T 3 1 2 S C A D G ) とプリンタの接続

パラレルタイプ ( K D T 3 1 2 S C A D G ) のパラレルインターフェイスとプリンタの IEEE1284 準拠パラレルインターフェイスを I B M P C / A T 及びその互換機用プリンタケーブル ( P C 側 : D S U B 2 5 ピンオス ) で接続してください。



#### 重要

- 本装置は U S B インターフェイスでの接続や E S C / P 以外の制御コードには対応していません。必ず I E E E 1 2 8 4 準拠インターフェイスを搭載し、制御コードに E S C / P をサポートしたプリンタをご使用ください。

### 8 - 3 本装置の設定

画面ハードコピーを使用する場合、本装置に設定する項目はありません。

### 8 - 4 プリンタの設定

プリンタに以下の設定項目がある場合、下記に示すように設定を行ってください。

制御コード (コントロールコード)	“ E S C / P ” または “ E S C / P スーパー ” に設定してください。
用紙サイズ	“ A 4 ” に設定してください。
印刷方向	“ 縦 ” に設定してください。

プリンタの設定方法の詳細については、各社プリンタの取扱説明書をご覧ください。

## 8 - 5 画面ハードコピー機能の使用方法

画面ハードコピー機能は、HTML ドキュメントに記述したリンクをタッチすることにより使用する事ができます。また、JavaScript の location オブジェクトの href プロパティにリンクを設定することにより使用する事もできます。HTML ドキュメントの記述方法については 10 . HTML ドキュメント作成資料の 10 - 5 画面ハードコピー機能の使用を参照してください。

## 8 - 6 画面ハードコピー制限事項

- ・プリンタとの接続はパラレル接続のみです。U S B での接続はできません。
- ・対応プリンタ制御コードは E S C / P のみです。他のプリンタ制御コードは使用できません。
- ・画面ハードコピー中（本装置がプリンタにデータを送信中）はタッチパネルの入力はできません。
- ・印刷中に印刷実行を取り消す事はできません。
- ・画面ハードコピー機能は画面に表示されている部分のみを印刷します。画面の外の領域（スクロールをすることにより表示される領域）は印刷されません。
- ・印刷用紙および印刷方向は A 4 サイズ縦方向のみに対応しています。
- ・本装置はプリンタ側で発生するエラーを B U S Y 信号が 10 秒以上 H I G H 状態になることにより検出します（この場合、本装置は画面にエラー表示ダイアログを表示して印刷を中止します）。しかし B U S Y 信号以外の信号線は監視していないため、ご使用になるプリンタによっては印刷エラーを検出できない場合があります。
- ・アニメーション GIF は画面ハードコピー機能が呼び出された瞬間に表示している状態で印刷されます。

## 9 . 暗号化通信 (SSL)

### 重要

- 本装置は、暗号技術に関する輸出規制の対象になっているため、本装置を輸出する場合は、お客様にて輸出許可を取得して頂く必要があります。

### 9 - 1 機能仕様

#### 9 - 1 - 1 SSL (Ver.2, Ver.3) 対応プロトコル

本装置は、暗号化通信機能として、SSL(Secure Socket Layer)Ver.2 及び Ver. 3 をサポートしています。仕様概要は下記の通りです。

- 秘密鍵 (対称鍵) 暗号関数  
RC4 40 ビット, 128 ビット 鍵長  
DES 40 ビット, 56 ビット 鍵長
- 公開鍵 (非対称鍵) 暗号関数  
RSA 鍵長 512, 768, 1024 bit 鍵長
- メッセージ要約関数  
MD2(128bit)、MD5(128 bit)、SHA1(160 bit)

#### 9 - 1 - 2 ルート証明書

本装置には以下のルート証明書が組み込まれています。

- RSA Secure Server Certification Authority
- Verisign Class 1 Public Primary Certification Authority
- Verisign Class 2 Public Primary Certification Authority
- Verisign Class 3 Public Primary Certification Authority
- Entrust.net Web Server SSL Root Certificate
- Entrust.net Global Secure Server CA

## 10 - 1 対応画像データ形式

本装置では以下の画像データ形式に対応しています

- GIF ( GIF87a、 GIF89a ( Interlaced、 Non-Interlaced、 Transparent Color ) )
- JPEG ( 基本方式 ( ベースライン ) DCT符号化 )
  - \* 大きな画像サイズのProgressive JPEGは表示されない場合があります。
- PNG

## 10 - 2 対応サウンドデータ形式

本装置では以下のファイル形式に対応しています。

ただし 16Bit サンプリングデータは 8Bit サンプリングデータに再生時に自動的に変換されます。

下記のファイル形式の音源ファイルを<BGSOUND>タグで指定すると BGM になります。

<A HREF>タグで指定すると再生用のダイアログが表示されます。

### • WAV形式ファイル

Encoding Tag	PCM, MULAW
Channels	1(モノラル)、2(ステレオ)
Bits/Sample	8、16
Sample Rate	~ 44100Hz

### • AU形式ファイル

Encoding Tag	PCM, MULAW
Channels	1(モノラル)、2(ステレオ)
Bits/Sample	8、16
Sample Rate	~ 44100Hz

### • AIFF形式ファイル

Channels	1(モノラル)、2(ステレオ)
Bits/Sample	8、16
Sample Rate	~ 44100Hz

### 10 - 3 表示フォントについて

本装置で表示できるフォントは、平成明朝体 16dot, ボールド体 12, 16, 24dot です。  
またフォントと<FONT>タグ及び<H>タグとの関係は次の通りです。

タグ	表示されるフォント
<FONT SIZE=1>	ボールド 12dot
<FONT SIZE=2>	ボールド 12dot
<FONT SIZE=3>	平成明朝体 16dot
<FONT SIZE=4>	平成明朝体 16dot
<FONT SIZE=5>	平成明朝体 16dot
<FONT SIZE=6>	ボールド 24dot
<FONT SIZE=7>	ボールド 24dot
<H1>	ボールド24dot
<H2>	ボールド16dot
<H3>	ボールド16dot
<H4>	ボールド16dot
<H5>	ボールド12dot
<H6>	ボールド12dot

### 10 - 4 メールメニュー画面への移行

メール機能のトップページを呼び出すには、以下のように記述してください。

```
<A HREF = "x-avefront://---.mail/start" target="_root">  
<A HREF = "mailto:aaa@bbb.cc.dd">
```

### 10 - 5 画面ハードコピー機能の使用

パラレルタイプ ( K D T 3 1 2 S C A D G ) にはユーザが作成する HTML 文書に画面ハードコピー機能呼び出すためのリンクを埋め込むことができます。この機能を利用することにより画面に表示されている状態を画面ハードコピーとして印刷することが可能です。

画面ハードコピー機能を HTML 文書から呼び出すには以下のように記述してください。

- ・ <A HREF>タグを使用する場合

```
<A HREF="x-avefront://a--.avefront/navigation/HardCopy">
```

- ・ JavaScript を使用する場合

```
location.href="x-avefront://a--.avefront/navigation/HardCopy"
```



## 10 - 5 - 1 HTML 文書中の画像表示の完了後に画面ハードコピーを行う方法

<A HREF>タグでアンカーを作成した場合、アンカーをタッチした瞬間の画面の状態を印刷します。そのため、印刷したい HTML 文書に含まれる画像がロード中でまだ画面に表示されていない状態の時、アンカーをタッチすると画像が表示されていない画面が印刷されることになります。

そこで、画像の表示が完了するまで画面ハードコピー機能を行いたくない場合は、以下の例に示すようなスクリプトを作成してください。

<例> HTML 文書中の画像表示完了後に画面ハードコピーを行う JavaScript サンプル

```
<head>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!--
    var TimerID = 10
    var PrintReserve = false

    // 表示中に印刷スイッチが押された場合に呼ばれる
    function WaitPrintExe()
    {
        clearTimeout(TimerID)
        for (var i = 0 ; i < document.images.length ; i++)
        {
            if (document.images[i].complete == false)
            { // まだすべての image が表示されていない
                TimerID = setTimeout("WaitPrintExe()", 1000)
                return
            }
        }
        // ここまで来たらすべての Image が load 完了なので印刷を行う
        location.href = "x-avefront://a--.avefront/navigation/HardCopy"
        PrintReserve = false
    }

    // 印刷スイッチが押された時に呼ばれる
    function PrintExe()
    {
        if (PrintReserve == true)
            return // すでに印刷予約済み

        for (var i = 0 ; i < document.images.length ; i++)
        {
            if (document.images[i].complete == false)
            { // まだすべての image が表示されていない
                PrintReserve = true
                TimerID = setTimeout("WaitPrintExe()", 1000)
                return
            }
        }
        // ここまで来たらすべての Image が load 完了済なので印刷を行う
        location.href = "x-avefront://a---.avefront/navigation/HardCopy"
    }
// -->
</script>
</head>

<body>
    :
<!-- 表示する HTML 文書 -->
    :
<!-- このアンカーによりスクリプトを起動する -->
<A HREF ="JavaScript:PrintExe()">印刷開始</A>
    :
</body>
</html>
```

### 重要

- HTML 文書にアニメーション GIF が含まれている場合、上記サンプルスクリプトは正常に動作しません。（アニメーション GIF では image オブジェクトの complete プロパティが true にならないため）

## 10 - 6 ユーザインターフェイスの作成

本装置にはユーザが作成するHTML文書にツールバーの“進む”、“戻る”などの機能をユーザが作成するHTML文書に埋め込むことができます。さらにこれらの機能を特定のフレームに表示することにより、不意にツールバーの機能を埋め込んだフレームが消去されないようにすることも可能です。これらの機能は「システム環境設定 ツールバーの表示形式」で「表示しない」に設定している時に便利な機能です。

### 10 - 6 - 1 ツールバーの機能を HTML 文書に埋め込む

ツールバーの機能を HTML 文書から呼び出すには<A HREF="...">タグを次表のように使用してください。

ツールバーの機能	書式
戻る	<A HREF ="x-avefront://a--.avefront/navigation/backward">
進む	<A HREF ="x-avefront://a--.avefront/navigation/forward">
再読込	<A HREF ="x-avefront://a--.avefront/navigation/reload">
ホーム	<A HREF ="x-avefront://a--.avefront/navigation/home">
中止	<A HREF ="x-avefront://a--.avefront/navigation/stop">
ジャンプ	<A HREF ="x-avefront://a--.avefront/navigation/urlinput">
お気に入り	<A HREF ="x-avefront://a--.avefront/navigation/bookmark">
管理者設定画面を呼び出す	<A HREF ="x-avefront://---.config/start" target="_root">
ユーザ設定画面を呼び出す	<A HREF ="x-avefront://---.user-config/start" target="_root">

### 10 - 6 - 2 フレームの拡張機能

ツールバーの機能を埋め込んだHTML文書をフレームに表示した時に不意にそのフレームが消去されないようにするため、本装置ではフレーム名に"\_top"を許しています。

<例>

```
<FRAMESET ROWS="40,*" >
  <FRAME NAME = "_MyToolbar" SRC="..."> <!--ツールバー機能を含むHTML文書を表示-->
  <FRAME NAME = "_top" SRC="..."> <!--任意のHTML文書を表示-->
</FRAMESET>
```

このようにして作成したフレームを消去するためには次のいずれかを行います。

- アンカーのターゲットとして\_rootをつける
- ツールバーの“ホーム”をタッチする、あるいは、前述の方法で作成した“ホーム”機能へのアンカーをタッチして、ホームに設定したHTML文書を表示する。

## 10 - 7 コンテンツの有効表示範囲

本装置の表示解像度は横 800dot 縦 600dot ですが、ブラウザ外側の飾枠やツールバー表示により、実際にHTML文書を表示できる範囲はこれより小さくなります。実際にHTML文書を表示できる有効表示範囲は次のようになります。

	幅(横方向)	高さ(縦方向)
ツールバーを表示しない場合	786dot	586dot
ツールバーを表示する場合	786dot	557dot

有効表示範囲より大きなHTML文書を表示する場合、「表示環境 スクロールバーの表示」で「自動」を選択している場合は自動的にスクロールバーが表示されます。

表示されるHTML文書のサイズによらずスクロールバーを表示したくない場合は、「表示環境 スクロールバーの表示」で「非表示」を選択してください。

## 10 - 8 ソフトウェアキーボードの指定

<input type="text">または<input type="password">または<textarea>の softkeytype 属性でソフトウェアキーボードの種類を指定することにより、入力タイプに合ったソフトウェアキーボードを指定できます。

さらに<TEXTAREA>でソフトウェアキーボードを指定した場合、ソフトウェアキーボードの入力ウィンドウの行数を softkeyrows=1...9 と指定することができます。（デフォルトでは9行です。）

<例> 画面下部にひらがなキーボードを表示する場合

```
<TEXTAREA softkeytype ="Hira_Lower" softkeyrows = 5>
```

属性	表示されるキーボード
"tenkey_1"	テンキー入力（小）
"tenkey_2"	テンキー入力（大）
"tenkey_leftupper"	画面左上に表示されるテンキー
"tenkey_centerupper"	画面中央上に表示されるテンキー
"tenkey_rightupper"	画面右上に表示されるテンキー
"tenkey_leftlower"	画面左下に表示されるテンキー
"tenkey_centerlower"	画面中央下に表示されるテンキー
"tenkey_rightlower"	画面右下に表示されるテンキー
"hexkey_1"	16進入力（小）
"hexkey_2"	16進入力（大）
"ascii_upper"	画面上側に表示される半角英数専用キーボード
"ascii_lower"	画面下側に表示される半角英数専用キーボード
"hira_upper"	画面上側に表示されるひらがなキーボード
"hira_lower"	画面下側に表示されるひらがなキーボード
"kata_upper"	画面上側に表示されるカタカナキーボード
"kata_lower"	画面下側に表示されるカタカナキーボード
"kigou_upper"	画面上側に表示される記号キーボード
"kigou_lower"	画面下側に表示される記号キーボード

本装置のシステムバージョン V2.21 以前の標準キーボードには以下のものがあります。

属性	表示されるキーボード
"normal"	通常の場合
"hira"	ひらがな入力
"kata"	カタカナ入力
"kigou"	記号入力
"ascii"	アルファベット入力

### 重要

- softkeytype 属性の指定がない場合、V2.21 以前と V2.30 以降では表示されるソフトウェアキーボードの形状が異なります。V2.21 以前のキーボードを使用する場合は上記属性を HTML ドキュメントに追加してください。

## 10 - 9 HTMLタグ一覧

### 基本タグ

<HTML> </HTML>	<HEAD> </HEAD>
<TITLE> </TITLE>	<BODY> </BODY>
<Hn> </Hn>	<Hn ALIGN=LEFT CENTER RIGHT> </Hn>
<P>	<HR>
<HR SIZE="...">	<HR WIDTH="...">
<HR ALIGN=left right center>	<HR NOSHADE>
<HR COLOR>	&lt; &gt; &amp; &quot;
<BODY LEFTMARGIN=..>	<BODY TOPMARGIN=..>
<BODY BGCOLOR="...">	<BODY TEXT="...">
<BODY LINK="..." VLINK="..." ALINK="...">	<BODY BACKGROUND="url">
<!....>	

### 配置タグ

<PRE> </PRE>	<XMP> </XMP>
<LISTING> </LISTING>	<BLOCKQUOTE> </BLOCKQUOTE>
<DIV ALIGN>	 
<SUB> </SUB>	<SUP> </SUP>
<BR CLEAR=left right all>	<CENTER> </CENTER>

### リストタグ

<UL> <LI> </UL>	<OL> <LI> </OL>
<DIR> <LI> </DIR>	<MENU> <LI> </MENU>
<DL> <DT> <DD> </DL>	<UL TYPE=disk circle square>
<OL TYPE=A a I i 1>	<OL START="...">
<LI TYPE=disk circle square>	<LI TYPE=A a I i 1>
<LI VALUE="...">	

### リンクタグ

<A HREF="url"> </A>	<A HREF="URL#...."> </A>
<A HREF="#....."> </A>	<A NAME="...."> </A>

### テーブルタグ

<TABLE> </TABLE>	<TABLE ALIGN>
<TABLE BORDER>	<TABLE BORDER="..">
<TABLE CELSPACING="...">	<TABLE CELLPADDING="...">
<TABLE COLS>	<TABLE WIDTH="..">
<TABLE WIDTH=%>	<TR><TH> </TH></TR>
<TR><TD> </TD></TR>	<CAPTION> </CAPTION>
<CAPTION ALIGN=top bottom>	<TR TH TD ALIGN=left center right>
<TR TH TD VALIGN=top middle bottom baseline>	<TR TH TD BGCOLOR>
<TH TD NOWRAP>	<TH TD COLSPAN="...">
<TH TD ROWSPAN="...">	<TH TD WIDTH="..." HEIGHT="...">
<TH TD WIDTH=%>	<TABLE HEIGHT>
<TABLE HSPACE>	<TABLE VSPACE>

### フォントタグ

<ADDRESS> </ADDRESS>	<BIG> </BIG>
<SMALL> </SMALL>	<FONT SIZE="..."> </FONT>

<FONT SIZE=+ - n> </FONT>	<FONT COLOR="..."></FONT>
<CITE> </CITE>	<CODE> </CODE>
<EM> </EM>	<KBD> </KBD>
<SAMP> </SAMP>	<STRIKE> </STRIKE>
<STRONG> </STRONG>	<DFN> </DFN>
<VAR> </VAR>	<B> </B>
<I> </I>	<TT> </TT>
<U> </U>	<BASEFONT SIZE="...">
<BLINK> </BLINK>	

## 画像タグ

<IMG SRC="url">	<IMG ALIGN =top middle bottom>
<IMG ALIGN=left right>	<IMG ALIGN=texttop absmiddle baseline absbottom>
<IMG NAME="...">	<IMG WIDTH="..." HEIGHT="...">
<IMG BORDER="...">	<IMG VSPACE="..." HSPACE="...">
<IMG ALT="...">	<IMG ISMAP>
<IMG USEMAP>	<MAP NAME="..."> </MAP>
<AREA COORDS/HREF/NAME/NOHREF/ALT/SHAPE>	

## フォームタグ

<FORM ACTION="url" METHOD=get post>	<FORM ENCTYPE="...">
<FORM NAME>	<FORM TARGET>
<INPUT TYPE=text>	<INPUT TYPE=password>
<INPUT TYPE=checkbox>	<INPUT TYPE=radio>
<INPUT TYPE=image>	<INPUT TYPE=submit>
<INPUT TYPE=reset>	<INPUT NAME="...">
<INPUT VALUE="...">	<INPUT ALIGN>
<INPUT CHECKED>	<INPUT MAXLENGTH=n>
<INPUT SIZE=n>	<INPUT SRC="url">
<SELECT> </SELECT>	<SELECT NAME="..."> </SELECT>
<SELECT SIZE=n> </SELECT>	<SELECT MULTIPLE>
<OPTION SELECTED>	<TEXTAREA>
<TEXTAREA NAME="...">	

## フレームタグ

<FRAME ALIGN>	<FRAMESET>
---------------	------------

## 拡張タグ

<SPACER ALIGN/HEIGHT/SIZE/TYPE/WIDTH>	
---------------------------------------	--

## ヘッドタグ

<BASE HREF="url" / TARGET="...">	<ISINDEX>
<ISINDEX PROMPT="...">	<META HTTP-EQUIV="..." CONTENT="...">

## サウンドタグ

<BGSOUND SRC="url" / LOOP=再生回数>	
---------------------------------	--

1 0 - 1 0 JavaScript  
1 0 - 1 0 - 1 JavaScript 対応表

: 対応  
: 制限事項有  
× : 未対応

オブジェクト		対応	備考
<b>navigator</b>	<b>Properties</b>		
	appCodeName		“Mozilla”
	appName		“Netscape”
	appVersion		“3.0(AveFront/2.5 WebLight)”
	language		“ja”
	mimetypes		
	mimetypes.length		
	platform		“ltron”
	plugins		
	plugins.length		
	userAgent		“Mozilla/3.0 (AveFront2.5 WebLight)”
	<b>Method</b>		
	javaEnabled	×	
	plugins.refresh		何も起こりません。
	taintEnabled	×	
<b>MimeType</b>	<b>Properties</b>		
	description		
	enabledPlugin		
	suffixes		
	type		
<b>Plugin</b>	<b>Properties</b>		
	description		
	filename		
	length		
	name		
<b>screen</b>	<b>Properties</b>		
	availHeight		
	availWidth		
	colorDepth		
	height		
	pixelDepth		
	width		
<b>Object</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	eval		
	unwatch	×	
	valueOf		
	watch	×	
	toString		
	<b>Constructors</b>		
	new Object()		
<b>Boolean</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	toString		
	valueOf		

オブジェクト		対応	備考
	<b>Constructors</b>		
	new Boolean()		
<b>Number</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	MAX_VALUE		
	MIN_VALUE		
	NaN		
	NEGATIVE_INFINITY		
	POSITIVE_INFINITY		
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	toString		
	valueOf		
	<b>Constructors</b>		
	new Number()		
<b>Function</b>	<b>Properties</b>		
	arguments		
	arguments.caller	×	
	arguments.length		
	arity		
	constructor	×	
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	toString	×	
	valueOf	×	
	<b>Constructors</b>		
	new Function()		
<b>Date</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	getDate	×	
	getDay	×	
	getHours	×	
	getMinutes	×	
	getMonth	×	
	getSeconds	×	
	getTime	×	
	getTimezoneOffset	×	
	getYear	×	
	parse	×	
	setDate	×	
	setHours	×	
	setMinutes	×	
	setMonth	×	
	setSeconds	×	
	setTime	×	
	setYear	×	
	toGMTString	×	
	toLocaleString	×	
	toString	×	
	UTC	×	
	valueOf	×	
	<b>Constructors</b>		
	new Date()	×	

オブジェクト		対応	備考
<b>Math</b>	<b>Properties</b>		
	E		
	LN10		
	LN2		
	LOG10E		
	LOG2E		
	PI		
	SQRT1_2		
	SQRT2		
	<b>Method</b>		
	abs		
	acos		
	asin		
	atan		
	atan2		
	ceil		
	cos		
	exp		
	floor		
	log		
	max		
	min		
	pow		
	random		
	round		
	sin		
	sqrt		
	tan		
<b>Array</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	length		
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	concat		
	join		
	pop		
	push		
	reverse		
	shift		
	slice		
	splice		
	sort		辞書順のソートのみ対応。比較関数を使用することはできません。
	toString		
	unshift		
	valueOf		
	<b>Constructors</b>		
	new Array()		
<b>history</b>	<b>Properties</b>		
	current		
	length		
	next	×	
	previous	×	
	<b>Method</b>		
	back		
	forward		
	go		



オブジェクト		対応	備考
<b>location</b>	<b>Properties</b>		
	hash		
	host		
	hostname		
	href		
	pathname		
	port		
	protocol		
	search		
	<b>Method</b>		
	reload		引数によらず常にサーバから再読み込みを行います。
	replace		
<b>String</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	length		2バイトコード文字は全角1文字を2文字として数えます。
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	anchor		
	big		
	blink		
	bold		
	charAt		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	concat		
	fixes		もともと等幅フォントのため表示の変化はありません。
	fontcolor		
	fontSize		
	indexOf		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	italics	×	
	lastIndexOf		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	link		
	slice		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	small		
	split		
	strike		
	sub		
	substr		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	substring		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	sup		
	toLowerCase		
	toString		
	toUpperCase		
	valueOf		
	<b>Constructors</b>		
	new String()		
<b>Window/Frame</b>	<b>Properties</b>		
	closed		常にfalseが返ります。
	defaultStatus		ステータスバーがないので何も起こりません。
	frames		
	innerHeight		
	innerWidth		
	length		
	locationbar		常にfalseが返ります。
	menubar		常にfalseが返ります。
	name		
	opener	×	
	outerHeight		

オブジェクト		対応	備考
	outerWidth		
	parent		
	personalbar		常にfalseが返ります。
	scrollbars		常にfalseが返ります。
	self		
	status		ステータスバーがないので何も起こりません。
	toolbar		常にfalseが返ります。
	top		
	window		
	<b>Method</b>		
	alert		
	back		
	blur	×	
	clearTimeout		
	close	×	ウインドウを閉じることはできません。
	confirm		
	focus	×	
	forward		
	home		
	open	×	
	prompt		
	scroll		
	scrollBy		
	scrollTo		
	setTimeout		
	stop		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur	×	
	onError	×	
	onFocus	×	
	onLoad		
	onUnload		
<b>document</b>	<b>Properties</b>		
	alinkColor		レイアウト確定後は変更できません。
	anchors		
	anchors.length		
	applets		
	applets.length		
	bgColor		
	cookie		
	domain	×	
	embeds		
	embeds.length		
	fgColor		レイアウト確定後は変更できません。
	formName		
	forms		
	forms.length		
	images		
	images.length		
	lastModified	×	
	linkColor		レイアウト確定後は変更できません。
	links		Link Objectのみ対応
	links.length		Link Objectのみ対応
	plugins		
	plugins.length		
	referrer		

オブジェクト		対応	備考
	title		
	URL		
	vlinkColor		レイアウト確定後は変更できません。
	<b>Method</b>		
	close		
	open		
	write		
	writeln		
<b>Anchor</b>	<b>Properties</b>		
	name		
<b>Applet</b>	<b>Properties</b>		
	all public properties of the Java applet.	×	<APPLET>タグに対応していません。
	<b>Method</b>		
	all public methods of the Java applet.	×	<APPLET>タグに対応していません。
<b>Image</b>	<b>Properties</b>		
	border		
	complete		
	height		
	hspace		
	lowsrc	×	
	name		
	src		
	vspace		
	width		
	<b>EventHandlers</b>		
	onabort	×	
	onError	×	
	onLoad	×	
<b>Link</b>	<b>Properties</b>		
	hash		
	host		
	hostname		
	href		
	pathname		
	port		
	protocol		
	search		
	target		
	<b>EventHandlers</b>		
	onClick		
	onMouseOut		
	onMouseOver		
<b>Area</b>	<b>Properties</b>		
	hash	×	
	host	×	
	hostname	×	
	href	×	
	pathname	×	
	port	×	
	protocol	×	
	search	×	
	target	×	
	<b>EventHandlers</b>		
	onClick	×	

オブジェクト		対応	備考
	onMouseOut	×	
	onMouseOver	×	
<b>Form</b>	<b>Properties</b>		
	action		
	elements		
	elements.length		
	encoding		
	length		
	method		
	name		
	target		
	<b>Method</b>		
	reset		
	submit		actionに”mailto:”が指定されている場合にメールが送信されません。
	<b>EventHandlers</b>		
	onReset		
	onSubmit		
<b>Button</b>	<b>Properties</b>		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	click		
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onClick		
	onFocus		
<b>Checkbox</b>	<b>Properties</b>		
	checked		
	defaultChecked		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	click		
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onClick		
	onFocus		
<b>FileUpload</b>	<b>Properties</b>		
	form	×	
	name	×	
	type	×	
	value	×	
	<b>Method</b>		
	blur	×	
	focus	×	
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur	×	

オブジェクト		対応	備考
	onChange	×	
	onFocus	×	
<b>Hidden</b>	<b>Properties</b>		
	form		
	name		
	type		
	value		
<b>Password</b>	<b>Properties</b>		
	defaultValue		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	focus		
	select		何も起こりません。
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onFocus		
<b>Radio</b>	<b>Properties</b>		
	checked		
	defaultChecked		
	form		
	length		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	click		
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onClick		
	onFocus		
<b>Reset</b>	<b>Properties</b>		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	click		
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onClick		
	onFocus		
<b>Submit</b>	<b>Properties</b>		
	form		
	name		
	type		
	value		

オブジェクト		対応	備考
	<b>Method</b>		
	blur		
	click		actionに”mailto:”が指定されている場合にメールが送信されません。
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onClick		
	onFocus		
<b>Text</b>	<b>Properties</b>		
	defaultValue		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	focus		
	select		何も起こりません。
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onChange		
	onFocus		
	onSelect	×	
<b>Textarea</b>	<b>Properties</b>		
	defaultValue		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	focus		
	select		何も起こりません。
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onChange		
	onFocus		
	onSelect	×	
<b>Select</b>	<b>Properties</b>		
	form		
	length		
	name		
	options		
	options.length		
	selectedIndex		
	type		
	<b>Method</b>		
	blur		
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onChange		
	onFocus		

オブジェクト		対応	備考
Option	Properties		
	defaultSelected		
	index		
	length		
	selected		
	text		
	value		
	Constructors		
	new Option()	×	

## 10 - 10 - 2 JavaScript 制限事項

本装置の JavaScript には以下の制限があります。

- ・ JavaScript 1.0 または JavaScript 1.1 のプロパティ、メソッド等でも対応していないものがあります。詳しくは **10 - 10 JavaScript** を参照してください。
- ・ Date オブジェクト、Area オブジェクト、FileUpload オブジェクトには対応していません。
- ・ 複数のウインドウを作成することはできません。ウインドウは起動時に作成されるウインドウのみ使用できます。
- ・ 起動時に自動的に作成されるウインドウを閉じる事ができません。

## 11. オプション機器（別売）のご案内

本装置（WebLight本体）に取りつけられるオプション機器（別売）として、以下の「卓上スタンド」、「保護カバー」をご用意しております。ご注文・お問い合わせについては、弊社営業部までご連絡下さい。

WebLight本体



卓上スタンド（別売）



保護カバー（別売）



壁掛け用ブラケット（別売）

- 卓上スタンド[型番：KDT312STSG]...卓上設置する場合に
- 保護カバー[型番：KDT412CV-1]...パネル表面の防滴・防汚用に
- 壁掛け用ブラケット[型番：KDT412BRS-1]...WebLight 本体の壁掛けに



## 12．よくある質問と回答

### Q．画面の表示有効範囲は？

本装置は画面の周囲に飾りフレームやツールバーの表示を行うため、液晶の解像度より画面の表示有効範囲は小さくなります。

それぞれの機種における画面有効範囲は以下のようになります。

また下記の表示有効範囲より表示するコンテンツの表示サイズが大きい場合は、スクロールバーが表示されます。

(但し、"スクロールバーの表示"設定が"非表示"の場合はコンテンツの表示サイズが表示有効範囲より大きくてもスクロールバーは表示されません、)

	幅(横方向)	高さ(縦方向)
ツールバー表示無	786dot	582dot
ツールバー表示有	786dot	553dot

### Q．スクロールバーが表示される条件は？

"表示環境設定"の"スクロールバーの表示"設定の設定内容により動作が異なります。

- A "自動"に設定されている時  
画面の表示有効範囲より表示するコンテンツの表示範囲が大きくなった時にスクロールバーが表示されます。
- B "常に非表示"に設定されている時  
コンテンツのサイズに関わらずスクロールバーは常に表示されません。
- C "常に表示"に設定されている時  
コンテンツのサイズに関わらずスクロールバーは常に表示されます。

### Q．同時表示色数は？

65535色同時発色です。

### Q．HTMLの対応バージョンは？

HTML3.2+テーブル拡張です。タグの対応状況については**10 - 9 HTMLタグ一覧**を参照ください。

### Q．SSLなどの暗号化通信に対応は？

SSL Ver.2及びVer.3に対応しています。詳細は**9．暗号化通信(SSL)**を参照ください。

### Q．サポートしている画像形式は？

画像ファイルの対応は下記の通りです。

- GIF  
対応しているGIFバージョンはGIF87a、GIF89a ( Interlaced、Non-Interlaced、Transparent Color ) です。

- JPEG  
JPEGは基本方式（ベースライン）DCT符号化です。  
JFIFフォーマットもJPEG方式であるため、基本方式（ベースライン）DCT符号化の物に関しては対応されています。  
プログレッシブJPEGも対応しています。
- PNG  
対応しています。

## Q．サポートしているサウンド形式は？

以下のファイル形式に対応しています。  
ただし16Bitサンプリングデータは8Bitサンプリングデータに再生時に自動的に変換されます。  
下記のファイル形式の音源ファイルを<BGSOUND>タグで指定するとBGMになります。

<A HREF>タグで指定すると再生用のダイアログが表示されます。

- WAV

Encoding Tag	PCM, MULAW
Channels	1(モノラル)、2(ステレオ)
Bits/Sample	8、16
Sample Rate	～44100Hz

- AU

Encoding Tag	PCM, MULAW
Channels	1(モノラル)、2(ステレオ)
Bits/Sample	8、16
Sample Rate	～44100Hz

- AIFF

Encoding Tag	PCM, MULAW
Bits/Sample	8、16
Sample Rate	～44100Hz

## Q．フォントの種類とサイズは？

12dot, 16dot, 24dotのbold体と16dotの明朝体を搭載しています。具体的には次表のように表示されます。

タグ	フォントサイズ
<FONT SIZE=1>	ボールド 12dot
<FONT SIZE=2>	ボールド 12dot
<FONT SIZE=3>	平成明朝体 16dot
<FONT SIZE=4>	平成明朝体 16dot
<FONT SIZE=5>	平成明朝体 16dot
<FONT SIZE=6>	ボールド 24dot
<FONT SIZE=7>	ボールド 24dot
<H1>	ボールド24dot
<H2>	ボールド16dot
<H3>	ボールド16dot
<H4>	ボールド16dot

<H5>	ボールド12dot
<H6>	ボールド12dot

## Q．サーバにあるHTML文書を更新しても本装置に反映されない。なぜ？

現在表示しているHTML文書と同じ文書を読み込んだ場合と、異なる文書を読み込んだ場合で対策が異なります。

現在表示しているHTML文書以外の文書を読みこんだ場合

この場合、以下の理由などにより古いHTML文書がキャッシュされていることが原因です。

- ProxyServerを使用し、ProxyServerにファイルキャッシュ機能がある場合
- メモリキャッシュの容量設定を0以外に設定している場合

対策として、以下のいずれかを行ってください。

- ツールバーの ” 再読込 ” ボタンを押す。
- 対象となるHTML文書の<HEAD>部分に<META HTTP-EQUIV="Pragma" CONTENT="no-cache">と記述する。
- メモリキャッシュ容量を0にする。

現在表示しているHTML文書を<A HREF>タグや<META HTTP-EQUIV="Refresh">タグで読み込んだ場合

本装置は現在表示しているHTML文書に関しては、メモリキャッシュの容量設定を0にしても、HTML文書の<HEAD>部分に<META HTTP-EQUIV="Pragma" CONTENT="no-cache">と記述がある場合でも必ず本装置内にキャッシュします。

そこで以下のいずれかの対策を行ってください。

- <A HREF="x-avefront://a--.avefront/navigation/reload">タグを使用してアンカーを作成する。
- <META HTTP-EQUIV="Refresh" CONTENT="10;URL=x-avefront://a--.avefront/navigation/reload">タグを使用して定期的に自動読込を行う。
- <A HREF="javascript:history.back();">タグを使用してアンカーを作成する。
- <META HTTP-EQUIV="Refresh" CONTENT="10;URL=javascript:history.back();">タグを使用して定期的に自動読込を行う。
- ツールバーの ” 再読込 ” ボタンを押す。

## Q．多数の画像があるHTML文書を表示しようとするると一部の画像が表示されず、表示されない画像はHTML文書を表示しようとする毎に異なる。なぜ？

文書を表示しようとする毎に表示される画像が異なるので、画像自体には問題がないと推測されます。

画像自体は問題がないのに、HTML文書を表示する毎に表示されない画像が異なるとなると画像の読み込み自体に失敗していると思われます。

このような現象は、サーバ側でソケットのオープンが拒否されたために画像を読み込むことができなかった場合に発生することを確認しています。

この現象は、Windows 95,Windows 98などのOS上でWebServerを動作させている場合や、本装置の同時接続数を4より大きくしている場合に起こりやすいです。

対策としては以下のいずれかを実施してみてください。

- 本装置の同時接続数の設定を減らす。(同時接続数を1にしても本装置は正常に動作しま

- す。)
- サーバに対し同時にアクセスするクライアントの数を減らす。
- WebServerの動作するOSをUnixやWindows NT Server等のマルチユーザを前提としたOSに変更する。

#### Q．JavaScriptの対応は？

対応しています。

対応バージョンはJavaScript 1.0相当ですが、一部JavaScript1.1にも対応しています。

なお、本装置搭載のJavaScriptには以下の制限があります。

JavaScriptを使用する場合は**3 - 1 - 4 システム環境設定**を参照し、「JavaScript機能」を「使用する」に設定してください。

#### 制限事項

- 新しいwindowをオープンできない。
- 日付関数は使用できない。(本装置にはRTCがないため日付 / 時刻を処理できないため)

#### Q．日本語入力ができるのか？

内蔵のソフトウェアキーボードから日本語の入力が可能です。

#### Q．日本語辞書を編集できるのか？

エンドユーザによる編集はできません。

#### Q．メール機能はあるのか？

本装置にはメールクライアントが実装されています。メール機能の詳細については**6．メール画面**を参照してください。

#### Q．DHCPはサポートしているのか？

RFC1541準拠のDHCPクライアントを実装しています。

#### Q．動画の対応は？

ありません。

#### Q．本装置のタッチパネル入力がたまにできなくなり自動的に復帰する。なぜ？

##### 現象

タッチパネルの入力がたまに行えなくなり、しばらく放置（20～30秒）しておくとピィとスイッチクリック音がして、入力が再び行えるようになる。

##### 理由

本装置でメール機能を「使用する」に設定し、着信メール確認時間が0以外に設定されていてPOP3サーバに指定したサーバに接続できない場合に発生します。

##### 対策方法

メール機能を使用しないならばメール機能を「使用しない」に設定してください。

またメール機能を使用する場合は、設定したPOP3サーバ名が正しいか確認してください。

サーバ名を正しく設定している場合は、サーバが正しく動作しているか確認し、サーバが動作して

いなければ、サーバを動作させてください。

サーバが一時的にダウンしている場合にはメール機能を「使用しない」に設定ください。そしてサーバ復帰後に再びメール機能を「使用する」に再設定してください。

### Q．メール環境設定でアドレス帳のソートを行う設定にしても、メールのアドレス帳のソートが行われない。

アドレス帳のソートは、メール環境設定で「アドレス帳のソート」を「行う」にチェックをいれた後、アドレス帳に新たなアドレスを登録した時点で名前をS - J I S 昇順でソートします。メール環境設定の「アドレス帳のソート」を「行う」にただけでは、実行されません。詳しくは、6 - 6 - 3 アドレス帳のソートを参照してください。

### Q．ネットワークに接続できない。なぜ？

設定完了後、指定したホームページの画面の表示が行われない場合は、「接続環境設定」及び「ブラウザ環境設定」で以下の項目に誤り又は、入力漏れがないことを確認してください。

#### 接続環境設定

A．D H C Pサーバ機能を使用する場合、D H C P機能を「使用する」にチェックが入っている事を確認してください。また、この場合はその他の項目が入力されていない事を確認してください。

B．D H C Pサーバ機能を使用しない場合、D H C P機能を「使用しない」にチェックが入っている事を確認して下さい。また、I Pアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、ネームサーバの値が正しく入力されている事を確認してください。

#### ブラウザ環境設定

A．プロキシサーバを経由している場合、「プロキシ - ホスト」及び「プロキシ - ポート」が正しく入力されている事を確認してください。また、「ホームページ」で“ホーム”となるアドレスが入力されている事を確認してください。

B．プロキシ - サーバを使用しない場合、経由するサーバのドメインアドレスが入力されている事を確認してください。また、「ホームページ」で“ホーム”となるアドレスが入力されている事を確認してください。

### Q．メールの送受信ができない。なぜ？

A．「メール環境設定」で「メール機能」を使用するにチェックが入っている事を確認して下さい。

B．「S M T P（送信）サーバー名（又はアドレス）」、「P O P（受信）サーバー名（又はアドレス）」が入力されている事を確認してください。

C．「メールアカウント」、「メールパスワード」、「メールアドレス」、「ドメイン名」が正しく入力されている事を確認してください。

### Q．バックライトの明るさを調整したい

3 - 1 - 5 表示環境設定を参照し、「バックライトの明るさ」を設定してください。

### Q．フレームのフォーカスを非表示にしたい

<FRAME>タグを使用し、画面を分割している場合、フレームのフォーカスを表す赤い枠が表示されます。これをデザインの理由などから表示しないようにする場合は、3 - 1 - 5 表示環境設定を参照し、「フレーム枠の表示」を「無」に設定してください。

## Q．ソフトウェアキーボードやテンキーを入力する項目と重ならないように表示したい

ソフトウェアキーボードやテンキーの表示位置をHTML文書で指定することができます。詳細については、**10 - 8ソフトウェアキーボードの指定**を参照ください。

## Q．画面全体にHTML文書を表示したい（ツールバーの表示を消したい）

本装置はツールバーの表示を行わず、画面全体でHTML文書を表示することが可能です。**3 - 1 - 4システム環境設定**で「ツールバーの表示形式」を「表示しない」に設定してください。

## Q．ツールバーは使用したいが、設定項目の変更は禁止したい

本装置ではツールバーを使用している場合でも、設定項目の変更を禁止したり設定項目の一部のみを変更できるようにすることが可能です。

すべての設定項目の変更を禁止したい場合

**3 - 1 - 4システム環境設定**を参照し、「動作中の設定移行」を「移行しない」に設定してください。

一部の設定項目の変更を禁止したい場合

**3 - 1 - 4システム環境設定**を参照し、「動作中の設定移行」を「ユーザ設定」に設定してください。

すべての設定項目の許可したい場合

**3 - 1 - 4システム環境設定**を参照し、「動作中の設定移行」を「管理者設定」に設定してください。

## Q．「お気に入り」機能が使用できない

**3 - 1 - 4システム環境設定**を参照し、「お気に入り機能」の設定を「使用する」に設定してください。

## Q．<FORM>タグを含むHTML文書の表示が非常に遅い

本装置で<FORM>タグを含む文書を表示する場合、フォームに含まれる要素数が極端に多いと表示が遅くなります。この場合、以下の方法を行ってください。

- フォームに含まれる要素数を減らす
- **3 - 1 - 4システム環境設定**を参照し、「JavaScript機能」の設定を「使用しない」に設定する。ただし、これを行うと本装置でJavaScript言語を使用できなくなります。

## Q．「接続環境」でIPアドレス等の設定が行えない

以下の場合、IPアドレス等を変更できません。

- 「接続環境」の「DHCP機能」の設定を「使用する」に設定している場合。
- 「接続環境」で「DHCP機能」の設定を「使用する」から「使用しない」に設定変更をしたが「実行ボタン」を押していない場合。この場合は「実行ボタン」を押すことによりIPアドレス等の設定を変更できるようになります。

2001 年 6 月 1 日 初版 発行  
2001 年 6 月 10 日 2 版 発行

**KOMATSU**

コマツ エレクトロニクス事業本部

